弦泳

第37号

関西学院大学体育会 水上競技部部誌 関西学院大学水上競技部競泳パートは、昨シーズン、「関西学生選手権男子総合2位、女子1部昇格」「日本学生選手権突破率65%、総合得点30点獲得」という目標を掲げました。関西学生選手権では、男子は同志社大学に勝利し総合2位、女子は2部2位、1部昇格という結果となり、目標を達成することができました。日本学生選手権では、個人種目で田中一路が400m個人メドレーにおいてB決勝へ勝ち進むといった活躍があったものの、リレー種目は予選敗退となり、点数を伸ばすことができず悔しい結果となってしまいました。全国大会で結果を残すことの難しさ、チームとしての力不足を痛感する大会となりました。その中でも、4年生を中心に応援でチームを盛り上げ、全員が全力で戦いました。

今シーズンは、「誰からも応援されるチーム」を目指し、「Lycaon」という目標を掲げ、 KGUST2024 をスタートさせてまいります。田中一路新主将の下、チーム意識や競技力の向 上を目指し、精一杯取り組んで参ります。今夏に KGUST 全員が輝く姿をお楽しみにして いて下さい。

水球パートは、本年度も関西学生選手権に向けて、体制を整え直して練習に励みました。 今年は 1 部昇格して神戸・立命館に点差をつけて勝利することを目指し取り組んだ関西学 生選手権ですが、神戸・立命館には惜敗したものの、2 部 1 位で入替戦に勝利し、結果は 1 部 5 位となりました。関西のどのチームよりも雰囲気がよく、チームワークの良さを見せ つけることが出来ました。

来年は関西学生選手権において、日本学生選手権出場を目標とし、日々精進して参りますので、どうか応援のほどよろしくお願い申し上げます。

さて、『弦泳第 37 号』をお届けいたします。水上競技部の活動や様子がお伝え出来ればと思います。また、至らない点も多々あるとは存じますが、何卒ご理解の程よろしくお願い申し上げます。OB・OGの諸先輩方をはじめ、多くの皆様に楽しんで読んで頂けますよう願っております。

I. ご挨拶・総括・抱負

はじめに 目次

т	ご挨拶・総括・抱負			
ı. ご技				
	弦泳会会長	田口	明宏	4
	水上競技部部長	岡田	太志	6
	水上競技部監督	北村	公一	8
	水上競技部水球パート監督	田中	洋佑	12
	競泳前主将	高っ	大輔	15
	水球前主将	竹中	柊	16
抱負	Į			
	競泳主将	田中	一路	17
II.	現役活動報告			
<竟	范泳>			
1.	第 99 回日本選手権水泳競技大会			19
2.	第 30 回関西学生春季短水路公認記録	会		20
3.	第 92 回兵庫県選手権水泳競技大会			24
4.	2023 年度大阪府選手権水泳競技大会			27
5.	第 11 回関西学生チャンピオンシップ	水泳競技	支大会	29
6.	第 97 回関西学生選手権水泳競技大会			33
7.	第 11 回関西学生夏季長水路公認記録	会		37
8.	第99回日本学生選手権水泳競技大会			39
< 力	⟨球⟩			
1.	関西学生選手権水球競技大会			42
Ш.	現役部員紹介			
1.	4年間を振り返って			46
2.	部員名鑑			64
IV.	付録			

75

76

87

1. 2020 年度水上競技部会計報告

2. 歴代 10 傑表

編集後記



ご挨拶

弦泳会会長 田口明宏

弦泳会会員の皆様、平素は水上競技部並びに弦泳会の活動に、ご理解とご協力を賜り誠に ありがとうございます。

コロナ明けの2023年のシーズンが終了いたしました。人数制限があるものの試合の観戦も一部許され、久しぶりに現役選手の力泳を拝見することができました。関西インカレにおきましては、競泳では、目標を達成し、男子総合2位、女子は1部昇格となりました。また、水球も1部昇格を果たすことができました。現役選手並びに監督、コーチの方々の頑張りに心から感動いたしました。

関西学院大学水上競技部には、専門の指導者はおりません。現役選手自ら練習メニューを考え、選手・マネージャーが一体となって、チームの目標、個人の目標に向かって精進を重ねております。毎年新体制となった時にキックオフミーティングが競泳・水球合同で行われます。そのなかで、新幹部がまとめ上げた「KGUST 方針書」と「KGUST の基本方針と部員の心得」が発表されます。内容は理念・精神目標・競技目標・チーム方針、そして規則や心得などのルールです。チームの目標は「競技力の向上と人間的成長」です。これは、関西学院のモットーMastery for Service と体育会のモットーNOBLE STUBBORNNESS を体現する水上競技部全員の目標となります、この方針書は、とても立派で、また、幹部の個性が前面にでたもので、現役部員が一つにまとまり、かつ、指導者がいなくてもモチベーションを持ち続ける素晴らしいものとなっており、これぞ関学!と誇れるものです。

さて、弦泳会の活動におきましては、昨年の総会におきまして、北村会長が監督に就任され、私が会長を拝命いたしました。幹事のメンバーも若手が就任し、より現役ファーストの体制で臨んでまいりたいと思います。そして、2024年は、早関戦が100周年の記念の年となります。100年前に全国レベルでの学生の水泳選手権がまだ行われていない中、関東優勝校である早稲田大学と、関西優勝校である関西学院大学が、早関対抗戦をスタートさせました。これは日本最古の大学対抗水上競技会であります。

昨年から、稲泳会、弦泳会、両監督と会議、ミーティングを重ね、来年 2024 年に早関戦 100 周年記念大会として開催することといたしました。運営に関しましては、100 周年以降 も長く続いていくための礎となりますよう、学生の自主性を重んじ、伝統継承者の当事者と して学生が主体的に行う大会とし、OBOG と一体となって伝統を繋いでいく記念大会といたします。

100年前のパリオリンピック開催年に第1回早関戦が始まり、2024年のパリオリンピッ

クが開催される年に早関戦が 100 周年を迎えるということは、とても素晴らしい機会であると思います。100 年前のパリオリンピックには、早稲田大学から高石勝男先輩が参加され、関西学院大学からは石田恒信先輩が参加されておられます。

ぜひ、2024年の100周年記念大会が成功いたしますように、皆様のご協力をお願いいたします。



ご挨拶

水上競技部長 岡田太志

創部 105 年となる今年の活動も、幹部学年である4年生を中心に立派な戦績を遺すことができました。関西学院を改めて覚え、関西学院に連なるわれわれに感動を与えてくれる内容と学びであり、われわれの誇りとなりました。それは、何よりも弦泳会会員の皆様方からの日頃からの陰に陽にわかるご支援とご尽力の賜物であり、改めて深く感謝申し上げる次第です。誠にありがとうございました。

個々の現役部員の皆さんにとって、この1年の活動は、どのようなものだったのでしょうか。特に卒業していかれる4年生は、新型コロナウィルス感染症の影響で高校の卒業式も大学の入学式も中止になった、いわゆるコロナ前の大学を知らない世代と呼ばれるようになりました。大学入学後、履修登録を済ませると、対面授業もほどほどに5月の連休後、全面的にオンライン授業に入りました。1年、2年と実質的に部活動はできず、プールにさえ入れぬ悔しさも経験しました。卒業していかれる4年生にとって、水上競技部員としての4年間の活動はどのようなものだったのでしょうか。部としても、個としても、「本当に大切なもの、あり方」を否応なく考えさせられ、多くの「気づき」が与えられ考える機会になったに違いありません。この間、苦しい時期にあって、体育会の大学関係者からは「水上競技部は素晴らしいですね。しっかりとされていますね」というお声がけをいただくことがしばしばあり、たいへん頼もしくまた誇らしく思っていました。こうした活動をされている部員の皆さんは、この水上競技部での「気づき」「学び」と「成長」を糧とされ、社会人として活躍されていかれるに違いないと確信とともに祈念するところです。

ご承知の通り、大学スポーツは、いま、明治期以来の一大変革期にあります。関西学院大学もその例外ではなく、この一大改革のトップランナーになるべく、具体的には、体育会の大学スポーツを正課外教育と位置づけ、組織的には学校法人から独立している現在の大学のスポーツ活動を法人の内部組織とすべく、第一弾として、2019 年度より「Academic Eligibility for KG athletes(関西学院大学体育会員に関する対外試合出場のための資格制度)」が実施され、続いて、2021 年には「KGAD(Kwansei Gakuin University Athletic Depertment、関西学院大学競技スポーツ局)」が設立され、競泳パートは今年度から加盟し、水球パートも加盟に向けた手続きを進めているところです。

「大学スポーツは、どうあるべきなのか」それは、関西学院大学は長く、そして今も検討し続けているところであり、KGAD の取り組みについては、暫くは生みの苦しみが続くに

違いありませんが、確立されていけば、大学スポーツのあり方として、やがては「KG モデル」と呼ばれるまでに育っていくのではないかと期待しているところです。

改めて、関西学院のスクールモットーは"Mastery for Service"です。その下で体育会のモットーは"NOBLE STUBBORNNESS"です。そしてわが部のモットーは"Zeal in Holy Stroke"です。朧気ながらも、大学スポーツあり方は見えているように思えます。そして、水上競技部には、42 部からなる関学体育会のトップグループで走っていきたいと期待するところです。ならば、上記モットーそれぞれの意味は何なのか、そこにはどのような想いや哲学が込められているのか。現役の皆さんは、それらを「常に問い考え自ら意味付け」ていく。そうした作業こそが、競技力の向上と人間的成長に繋がる大元のひとつになると信じるところです。

現役生の皆さん、神学者 Reinhold Niebuhr(1892-1971)が以下の祈りの言葉を遺しています。活動の参考までに掲載させていただきます。

God, give us grace to accept with serenity the things that cannot be changed,

Courage to change the things which should be changed, and the Wisdom to distinguish the one from the other.

主よ、どうしても変えることのできないものについては、それを静かに受け容れる品格 (心の平和)をお与え下さい。

変えるべきことについては、それを変えていく勇気をお与え下さい。 そして変えることのできないものと変えるべきものとを見分ける叡 智をお与えください。

最後となりましたが、改めて弦泳会会員の皆様方の日頃からのご支援に心から感謝申し上げるとともに、引き続き水上競技部へのご支援とご鞭撻を賜りますよう、なにとぞ宜しくお願い申し上げます。



「シーズンを振り返って」

総監督・競泳パート監督 北村公一

現在の4回生は2020年の春、新型コロナウイルスの感染拡大とともに入学しました。新入生歓迎コンパ、関関戦、水祭・レセプション、4回生追出しコンパなど主要な行事が全て中止に追い込まれ経験することができない状況でした。キャンパスでの学びや、プールでの練習も満足にできず、強い孤独感や不安を覚えたことだと推察します。そうした状況の中でも、先輩と後輩、同期とのつながりを大切にしながら決して腐らず、オンラインで学び、厳しいプール利用制限の中でも創意工夫し鍛錬に励みました。

多くの苦難を乗り越え昨年代替わりをした競泳パート高主将、山形主務、幹部はじめ4回生全員の姿に、若者ならではのしなやかな連帯感や、仲間とチームを大切にする献身や犠牲的精神を感じ、私自身とても感銘を受けました。代替わり以降、活動規制が徐々に緩和される中、4回生がこれまで経験してこなかった、水祭・レセプション、中・高を交えた競泳総合関関戦を4年ぶりに復活させ、伝統を引き継いでくれました。更に本年1月には、念願の競泳パートの競技スポーツ局(KGAD)加盟が正式に承認されました。これらは山形主務が中心となり、学生主導で手探りながら熟慮を重ね粘り強く各方面と交渉を続けた成果です。

水上競技部のモットーZeal in Holy Stroke は、水上競技部から世に貢献する人を輩出することを目的としています。4回生のこれまでの歩みが、社会に出た後自分自身の未来を切り開いていく原動力になり、Zeal in Holy Stroke とともにスクールモットーである Mastery for Service を体現されていくことを期待しております。

今シーズン、競泳パート高主将が掲げた競技目標は、関カレ:男子総合 2 位、女子 1 部 昇格

インカレ:インカレ突破率 65%、総合得点 30 点獲得でありました。

関カレは、男子、女子とも目標を達成。種目別には高主将が100 背において、また田中次期主将が400個メにおいてそれぞれ近大のライバル達を抑え見事関西制覇を果たしました。リレー、個人を含め多くの選手が得点に絡む活躍を見せました。女子も多くの種目においてベストを更新し躍動しました。関カレ後、長水路での練習を積極的に組み込むなどハードな調整に励みました。インカレ開催前に主催者から種目別出場選手のエントリータイムでの順位が公表されました。その内容から決して楽に点は取れないと出場選手全員気を引き締めて東京に向かいました。

インカレの戦績については既に弦泳会会員の皆さまに向け、次期主将田中・主務天野から報告がありました。4日間を通じ関学は総合得点1点、自己ベスト二つという厳しい結果で終わりました。B決勝進出は田中次期主将が出場した400個メのみとなりました。田中次期主将は400個メレース後、「B決勝はいつも全国で優勝しているような選手ばかりで、召集場では居るだけでとても圧を感じた。自分はまだまだ未熟で、ここから1年妥協は許されないと自分の中で意思を固めました。」と語りました。直近の練習においてはその決意通り、気追溢れる姿勢でチームを牽引しています。

私は、昨シーズン終了と同時に競泳パート監督に就き、選手に「有言実行」を求めています。

人間の行動には良く4つのパターンがあると言われます。「有言実行」「不言実行」「有言不実行」、選手には少なくとも「有言実行」「不言実行」であってもらいたいと思います。選手は、目的をもって日々の鍛錬に励み、大会に向け調整をし、明確な目標を立てて試合に臨む訳ですが、大会毎に掲げる個人目標と戦績に乖離が目立つケースがシーズンを通して散見されました。勿論ベスト更新の目標を掲げシビアに達成する選手や目標まで僅かな差という選手もおりますが、大勢はそうではなかったのではないでしょうか。私はコーチングの経験のない名ばかりの監督で、練習への参加も毎週末がやっとという具合ですが、監督就任後半年も経過しますと各選手の泳ぐ様子からその時々の調子、大会に向け設定した目標タイムの実現度などが朧気ながら見えてくるようになりました。そこで感じましたのは、目標タイムは「誰のためのものか」「何のために設定するのか」という単純な疑問でした。選手達は繊細で、いま誰が追い込んだ練習を続けているのか、またそうでないのか、誰が伸びているのかを理解しプール内の秩序を作っていると思います。他選手が設定した目標タイムに対する見解も各人各様に持っているはずです。

選手は、今期も昨シーズンを超える努力を続け、ベスト更新を自らに課しているはずです。 目標は達成するためにあります。シーズン中、時には目標を外すこともあるでしょう、しか し外した次はよりシビアな目標にすべく修正が加えられるはずです。

自分がどうしたいのか、どうなりたいのかを自問自答し、自分がなりたい姿の実現に向けて日々コツコツ厳しい鍛錬に向かい合ってもらいたいと思います。2024年のシーズンは言葉だけで終わらない有言実行が根付き、その先にあるチーム目標達成につながることを期待します。

昨シーズンも島チーフトレーナーはじめトレーナの方々の手厚いサポートにより選手の コンディションが良好に維持されております。日頃のご支援に対し心から感謝申し上げま す。

また、マネージャーの皆さんは常に選手とともに活動し、献身的に支えてくれております。 合わせてマネージャー日記の作成も精力的に行い、現役同士はもとより OBOG との絆をよ り強固なものにしてくれています。

弦泳会会員の皆さまにおかれましては、今後とも現役に対しますご指導、ご支援を賜りま

すようお願い申し上げます。

「シーズンを振り返って」とは別に下記2点ご報告いたします。

- 1. 早稲田大学水泳部との対抗戦「早関戦」100周年記念大会開催について
- 2. 競泳パート「競技以外の活動」(ボランティア活動) について
- 1. 早稲田大学水泳部との対抗戦「早関戦」100周年記念大会開催について

皆さま既にご承知の通り、来る 2024 年は「早関戦」が始まって 100 周年の年に当たります。2019 年に開催した創部 100 周年記念式典に早稲田大学水泳部 OBOG 会である稲泳会の原会長が来賓でお越しいただいた際に、是非「早関戦」を実現しましょうとの発言がありました。

その後原会長、当時の弦泳会会長北村(2022年11月監督就任)同田口会長(2022年11月会長就任)を中心に100周年記念大会実現に向け丁寧に意見交換を続けてまいりました。

これまでの両校 OBOG 会の意見交換内容を受け、去る 10 月 11 日に早稲田大学水泳部競泳・水球両監督、両部主将・主務、当方競泳・水球両監督、両部主将・主務が揃ってオンラインで「早関戦」100 周年記念大会に向けたキックオフミーティングを持ちました。その場では、多くの決定がなされ、検討継続事項が確認されました。主な決定事項は以下の通りです。

①大会の主旨・目的

- ・日本最古の大学対抗水上競技会である早関戦の 100 周年を記念して行う。
- ・学生の自主性を重んじ、伝統継承の当事者として学生が主体的に行う大会とする。
- ・100周年を今後更に長く続けていくための礎にする

②開催日

・2024年9月9日(月)(2024年度競泳日本学生選手権最終日の翌日)

③会場

- ・競泳、水球とも早稲田大学所沢キャンパス内アクアアリーナ。
- ④公認大会とはしない。
- ⑤当日時間割
 - 11:00 開会式

水球競技、競泳競技

15:00 閉会式・懇親会

16:00 閉会

平日開催となりますが、関東在住の OBOG の皆さまをはじめ多くの諸先輩のご来場をお待ちしております。詳細のご案内は寄付のお願いと合わせて後日発信させていただく予定です。

2. 競泳パート「競技以外の活動(ボランティア活動)」について

競泳パートは、KGAD 加盟以降 KGAD が加盟各部に推奨している「競技以外の活動(ボランティア等)」への取組みを主体的に行い、学生自身が地域との交流を通じ社会に目を向けるきっかけにしたいと考え、具体的な活動を模索しておりました。西宮市内の中高教育現場に精通されている高等部方波見先生にご意見を求めましたところ、西宮浜義務教育学校(浜甲子園中・鳴尾南中・高須中)3 校の水泳部が連携校型合同部活動を行っているとのお話を伺い、早速 3 校水泳部の拠点校となる高須中の水泳部顧問の先生にお話を伺いに上がりました。西宮市教育委員会が、中学校において継続可能な部活動と教師の負担軽減の両方を実現できる改革を進めている

最中で、令和3年より3校が「休日の部活動の段階的な地域移行」を研究されているという話を伺いました。当方からの下記提案を行いました。①内容:関学大プールにおいて関学競泳パート選手が3校水泳部の生徒さん対象にレッスンを行う ②頻度・時間:毎月1度、競泳・水球の練習のない日曜日の午前または午後の2時間 ③その他:少なくとも先生1名の引率による来校。中学校による傷害保険加盟。ボランティアであり無報酬。

結果、当方の提案内容に賛同いただき、3 校プラス近隣校の鳴尾中を加え 4 校の生徒さんを迎えることになりました。3 回生山田晃誠君を本件担当者として主将・主務、幹部とともに受け入れ態勢、練習内容を練りました。去る 11 月 2 日(日)9:00~11:00で 4 校 22 名の生徒さんが本学プールに来場され第一回レッスンが無事終了しました。生徒さんの個人情報に配慮し、KGUSTの HPへの掲載は控えております。高須中先生の話によりますと、生徒さんの事前の盛り上がりは相当なものであったようで、当日の緊張度は先生から見られても最高潮であったとのことでした。山田君、主務、副将、新幹部 6 名による良く練られた対応でしたので生徒さんの満足度は高いものがあったと思います。私自身、学生の皆さんの生き生きとした親身な指導は大変誇らしく感じました。この度の取り組みが学生主体で穏やかに根付き、関与する学生全員が地域との連携に関わる手応えを感じてくれることを願っています。合わせて、生徒さん達がレッスンを通して、また上ケ原のキャンパスの雰囲気を肌で感じ、キャンパスは絵に書いたみたいやな!学生コーチ皆格好良くて良い人やな!将来関学大に入学したい!とイメージとして焼き付けてもらえればこれ以上喜ばしいことはありません。

以上



6年ぶりの1部昇格 そして次の時代へ

水球パート 監督 田中 洋佑

2023年度は、6年ぶりに関西リーグ1部昇格を果たすことができました。これもひと えに日頃ご支援頂いている弦泳会の皆様のおかげです。昨年度は悔しい思いをしましたが、 今年はその雪辱を果たしました。その要因について私なりの分析を述べたいと思います。

① 泳力強化を継続したこと

近年のルール改正により、水球は泳力のあるチームがさらに有利になりました。そんななか、今年のチームは毎回スイム練習を欠かさずやっておりました。その結果、2部のチームを圧倒する泳力をつけることができました。大阪大学相手に学生リーグで9点差もつけたのはいつ以来でしょうか。試合後半になってもバテない泳力が付きました。

② リーダー制度の導入

岡田コーチの提案により、数人の学生に明確な担当を持たせる「リーダー制度」を3月から導入しました。戦略リーダー、分析リーダー、コンディショニング担当、ウエイト担当、メンタル担当・・・。チームの課題に対して、それぞれのリーダーが役割を持って解決のための行動を起こしてくれました。これまでは、主将がほぼ全ての役割を持つ運営をしていましたが、トップダウンからボトムアップへの運営に変わり、部員の部活に対する行動に変化が見られました。

③ 米田舞雪主務のリーダーシップ

最後に唯一の4年の米田主務についてです。彼女はコロナ禍が始まった2020年に入部しました。最初の1年は部員が5名と大変少なく、非常に苦しい時期だったと思います。2年になり、1つ下の学年が入部してきましたが、同学年がいないので後輩の育成に苦労したと思います。3年の時は不本意な成績となり、4年になって唯一の最高学年として本気の行動を取ってくれました。スイム練習の導入もですが、私の知らないところで部員と1対1で話す機会を作ってくれたそうです。そんな行動の結果、全部員が「舞雪さんのために」という気持ちで臨み、チームに団結力が生まれました。今年の団結力は例年にないものでした。大接戦だった京大戦の4ピリ目が始まるときに誰かが「さあ!最後いくぞ!」といい、「おおお!」とチームが呼応しました。それを聞いて私

は勝利を確信しました。無事に勝利し、入れ替え戦も勢いそのままに勝利しました。

私が今年は全試合いけなかったので選手交代も水球経験者である米田主務に一任しましたが、立派に役割を果たしました。彼女はまさに主務であり、陰の主将であり、陰の監督だったと思います。

こうして振り返ると、やはり米田さんの行動が大きかったのは間違いありません。。 4年生の行動がチームに団結を生み、強さを作るものだと改めて認識しました。彼女が 見せた背中を後輩たちが追いかけてほしいと思います。

水球パートは2024年度の目標として、関西2位以上となり、インカレ出場を果たすこととしています。今年10月に行われた関西学生秋季大会では3位となり、来年の期待がますます持てるものとなりました。近年の関西学生リーグは、立命館一強の時代は過去の話で、龍谷、びわ湖成蹊の力が少し抜き出ております。我々はその2強に立ち向かっていかなければなりません。

そのためには各個人のさらなるレベルアップと今年以上の団結力を目指さなければなりません。当然ながら幹部学年のリーダーシップが求められますが、今の学生たちならやってくれると思います。

今、学生スポーツのあり方に関して改めて議論がされています。他大学で薬物問題や暴力、ハラスメント等、様々な問題が起きています。我が KG においては、KGAD の取り組みが始まっており、水球パートにおいても加盟のための取り組みを進めています。 KGAD には成熟したチーム運営が求められます。「チームのために自分は何ができるのか」、「どうすれば勝てるのか」「どんなチームになりたいのか」こうしたことを学生たちが考え、実行していく。ここに学生スポーツの面白さそして意義がありますし、そこに気がつかせるのが我々指導者の役割だと思っています。上に記載した「リーダー制度」の導入もその取り組みのひとつです。

大事なことは、強さ、勝利だけではなく、意味のある勝利、人間力の育成を目指さなければなりません。元関学サッカー部出身で、元Jリーガーの井筒陸也氏による「敗北のスポーツ学」という著書があります。この著書は学生だけでなく、関係者の皆様に是非読んでほしいものです。井筒氏はこの著書で、「人間性はクソだけど上手いアスリート」の存在について問題提起しており、「他者感の欠如」があり、自分の殼に閉じこもる人物は、自分の力が認められないと憤慨すると述べています。この本の話はこれくらいにしておきますが、我がチームでは、「強いアスリート」だけでなく、「他者への配慮、感謝」ができる人材育成を目指し、関西の大学水球に新しい「風」を吹かせていきたいと思っております。

結びにあたりまして、弦泳会員の皆様におかれましては引き続き学生たちへのご支援 のほどよろしくお願い申し上げまして、挨拶とさせていただきます。



昨シーズンを振り返って

競泳前主将 高 大輔

今年度の KGUST は、精神目標である「六常」を掲げ、昨年の9月から人間力と競技力、両方の向上に努めて参りました。「男子関西インカレ2位、女子1部昇格」、「選手部員のインカレ突破率65%」、「インカレ総合得点30点」という競技目標を掲げ、日々の練習に打ち込んでまいりました。結果として、達成することができたのは初めに記載した2つの目標のみで終わり、主将としては力及ばずチームを最高の結果に導くこと叶いませんでした。しかし、この1年は人生で一番みのりある時間となり、多くのことを学ばせていただきました。この一年の想いについてお話しさせていただければ存じます。

我々104 期生はコロナ禍を開けて、多くの伝統や行事を体験することなく最高学年となりました。いきなり水祭という大変大きな行事を迎え、何もかも手探りの状態から始まりました。水祭を無事終えた時、安堵と達成感で満ち溢れていたことを覚えています。そして、富山で合宿をはじめて行い、大変苦しい練習を乗り越えチームとして一歩成長することができました。関西大学様と話し合いを重ね、関関戦を新たなルールで試合を作り上げていき、勝利することもできました。多くの失敗と成功を体験することができた 1 年間でした。主務の山形と新チームを率いる前、「最高のチーム作り」をしていこうと話し合ったことを今でも覚えています。1 年たった今、それが叶ったどうか判断できませんが、山形や同期と歩んできたこの 1 年間はかけがえのない時間となりました。インカレで私は不甲斐ない結果で終わってしまいましたが、次の世代である後輩たちが活躍する姿を必死に応援することができることは 1 水泳ファンとして嬉しく感じています。

最後となりましたが、北村監督、田口 OB 会長をはじめとする OB・OG の皆様のご支援により、日々の練習、部の運営を円滑にすることが可能となっております。この場をお借りし感謝御礼申し上げます。今後とも KGUST のご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。



昨シーズンの振り返り

水球前主将 竹中 柊

昨シーズンは悲願の 1 部昇格を果たし、これまでにない喜びをチーム全体で分かち合うことが出来ました。終始楽しんで水球をすることが出来、この1年に後悔はありません。関西学生選手権という大きな舞台で臆することなく関学水球のプレーをすることができたのはチームの皆のおかげであると感じています。頑張ってくれるチームの皆、支えてくれるマネージャー、監督方、保護者の方々、OB,OGの皆様、全てに感謝しています。

この一年間、監督方からのサポートを受けながらもどのような主将になるべきかを常に考えながら過ごしてきました。手探りで考え行動してきたものの、答えが定まっていないと感じます。ただ 1 つ言えるのは、「1 人ではない」ということです。頼れる仲間がいるということを武器に、仲間を信じて、今シーズンも日々精進します。チームの要として、最後の砦の GK として、インカレの舞台に導きます。

最後になりますが、OB,OGの諸先輩方並びに関係者の皆様、これまでのご支援、ご声援ありがとうございました。皆様の声援が、私たち現役部員の励みとなっていました。厚く御礼申し上げます。今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。



「2024年度 抱負」

競泳主将 田中 一路

KGUST2024 競泳パートでは、精神目標に「Lycaon (リカオン)」を掲げ、「関西学生選手権男子2位死守、女子総合45点獲得、日本学生選手権、総合20点獲得」に向け、日々の鍛錬に励みます。精神目標であるLycaonとは、群れで狩りをする動物で、それぞれが獲物を得るため非常に強く結束します。また、狩った獲物を仲間で分け与える社会性も持ち合わせています。今年の精神目標には、チームの一体感を武器に、集団になったとき大きな力を発揮し、全員が人を思いやることのできるチームを目指すと言う意味が込められています。そして、スクールモットーであるMastery for Service、水上競技部のZeal in Holy Strokeを体現できる人間になるために、揺らぐことのない人間性、高い競技力を兼ね備えた部員が集う団体として、1年間歩みを進める所存です。

高主将が率いる KGUST の精神目標は、「六常」でした。五常(仁義礼智信)に「利」を付け加えており、円滑な人間関係の構築に必要な徳とアスリートに必要な貪欲さを兼ね備えた選手に成長することを目標に歩まれました。高主将は、個人種目とリレー種目フル出場で、優れたセンスと競技力でチームを引っ張ってくれました。私も主将である前に選手として練習への姿勢や試合での活躍で周りを鼓舞できるように日々精進していきます。

私が選手として輝かしい結果を目指すというのは勿論ですが、主将として 1 番大切にしたいのはチーム全体の成功です。そのために、私の理想とするチーム像は、「心の底から互いに応援し合えるチーム」です。当たり前のように聞こえますが、現状これがあまりできていません。個人主義的な面が多々見受けられます。今、チームに必要とされることは、2つあると考えています。1つ目は、KGUSTの一員であるという自覚をもって日常生活を送ることです。ここ最近、多々部活内で問題が発生しました。そのため、挨拶やルールを守る、練習を頑張るといった、部員として当然の行動を今一度、確認するべきだと思います。2つ目は結果より経過、つまり日々の部活への姿勢、努力、といったプロセスを重視することだと思っています。1つ目ができたうえで全員がこれをできるようになると、試合の時に「頑張れ!」と心から応援できて、結果が出たときに全員が 1 つになって喜べると思うからです。

そのために私は、主将として部員全員の日ごろの頑張りに目を向け、部員間でお互いを認められるように、円滑なコミュニケーションをとれる環境作りに励みます。誰かがサポートを求めたとき、そこに立ち手を差し伸べられるよう周りに気を配ります。

1年を通しプロセスを大切に協力し高め合い得た結果は、最も価値のある瞬間であり宝物になります。皆で目標に向かい全力を尽くし、仲間に心からのエールを送りましょう。たくさんの応援という追い風を力にチームがLycaonのように一丸となって躍動する姿をお見せします。

最後になりましたが、北村監督を始めとする OB・OG の方々のご支援によって、我々水 上競技部は活発に活動することができております。この場を借りて感謝御礼申し上げます。 今シーズンも部員一同、誠心誠意部活動に励みます。今後とも変わらぬご指導、ご鞭撻の程、 宜しくお願い申し上げます。

III. 弦泳会会員活動報告

<競泳パート>

1. 第 99 回日本選手権水泳競技大会

開催日:2023/4/4(月)~2023/4/9(日) 会場:東京アクアティクスセンター

☆自己ベスト更新者 ★学院記録更新者

種目	男女	氏名	学年	予/決	記録	順位	備考
200m 平泳ぎ	男子	重塚 笙	2	予選	2.16.44	40	

観戦記

重塚 笙

大学に入学してから二度目の日本選手権となったが、昨年の結果よりも良くない結果で終わってしまったことを非常に悔やんでいる。大学生の競技生活は残り少ないため、悔いの残らないよう毎試合、いい結果を残せるように普段の練習から課題を持って取り組みたいと感じた試合だった。

2. 第30回関西学生春季短水路公認記録会

開催日:2023/4/22(土)~2023/4/23(日)

会場:秋葉山公園県民水泳場

☆自己ベスト更新者 ★学院記録更新者

	1		1	1		1		
種目	男女	氏名	学年	予/決	記録	順位	備考	
		/a +++	2	タ決	22.48	2	☆	
		久世 航大	3	チャレンジ	22.49	1		
		一百 鹿板	4	タ決	23.10	6		
		三原 慶悟	4	チャレンジ	22.97	3		
		長澤 樹	3	タ決	23.53	19		
50m 自由形	男子	中谷 志優	1	タ決	23.56	20		
		清水 歩空	2	タ決	23.62	21		
		田中 駿真	3	タ決	23.77	28	\Rightarrow	
		小嶋 虹佑	1	タ決	23.84	33		
		伊藤 寛記	1	タ決	24.35	43		
		高橋 優輝	4	タ決	棄権			
	女子	天野 百望	3	タ決	26.27	2		
			久世 航大	3	タ決	49.58	4	☆
				三原 慶悟	4	タ決	49.72	5
		増田 達哉	4	タ決	50.38	8		
		中谷 志優	1	タ決	50.99	12		
		長澤 樹	3	タ決	51.40	22		
	ш ¬	清水 歩空	2	タ決	51.47	25		
100 D T TV	男子	田中 駿真	2	タ決	52.03	34		
100m 自由形		丸山 碧斗	1	タ決	52.10	36		
		伊藤 寛記	2	タ決	52.18	37		
		小嶋 虹佑	2	タ決	53.31	57		
		高橋 優輝	4	タ決	棄権			
		津田 悠生	1	タ決	棄権			
		天野 百望	3	タ決	57.58	5		
	女子	佐野 仁美	3	タ決	棄権			
200m 自由形	男子	三原 慶悟	4	タ決	1.49.19	1		

1	1	_					
		清水 歩空	2	タ決	1.50.31	6	
		永井 悠介	2	タ決	1.51.01	9	
		垣内 柊人	2	タ決	1.53.97	27	
		津田 悠生	1	タ決	1.56.00	36	
		藤原 大彰	4	タ決	1.56.12	38	☆
		伊藤 寛記	2	タ決	1.56.81	42	
		増田 達哉	4	タ決	棄権		
		濵田 莉子	3	タ決	2.06.24	9	☆
	女子	佐野 仁美	3	タ決	棄権		
1500m 自由形	男子	大門 慶悟	3	タ決	15.39.41	2	
100 t 1 T/		山田 晃誠	3	タ決	3.54.10	2	☆
400m 自由形	男子	大門 慶悟	3	タ決	3.59.37	11	☆
50m 背泳ぎ	男子	高 大輔	4	タ決	26.41	7	
		村田 李々冬	1	タ決	57.33	14	
100 TKX +11	男子	西垣 祐輝	4	タ決	57.62	18	☆
100m 背泳ぎ		高 大輔	4	タ決	棄権		
	女子	山城 夢芽	2	タ決	1.06.39	15	
	男子女子	村田 李々冬	1	タ決	2.04.72	11	
200 dk/2/4/		高 大輔	4	タ決	棄権		
200m 背泳ぎ		濵田 莉子	3	タ決	2.18.25	7	
		山城 夢芽	2	タ決	2.19.25	10	
50m平泳ぎ	男子	丸山 碧斗	1	タ決	29.59	9	
		重塚 笙	2	タ決	1.00.88	7	
		= <u>+</u> + +	4	タ決	1.01.64	15	
		武本 航志	1	チャレンジ	1.01.17	4	$\stackrel{\wedge}{\simeq}$
		上 1. 拉 1	4	タ決	1.01.87	16	
100 ぜらざ	田フ	丸山 碧斗	1	チャレンジ	1.01.61	5	
100m 平泳ぎ	男子	森谷 郁海	1	タ決	1.02.23	22	
		武樋 祥太郎	4	タ決	1.02.82	28	
		佐藤 亮士	4	タ決	1.02.97	32	
		八木 大輝	3	タ決	1.03.25	34	
	<u>-</u>	大平 理登	2	タ決	1.06.69	54	☆
200m 平泳ぎ	男子	森谷 郁海	1	タ決	2.11.71	4	

1	İ		Г	T						
		 武本 航志	1	タ決	2.13.89	9	☆			
		此本 机心	1	チャレンジ	2.12.67	1	☆			
		八木 大輝	3	タ決	2.14.31	12				
		武樋 祥太郎	4	タ決	2.16.21	16				
	田フ	好川 大雅	4	タ決	24.00	1	$\stackrel{\wedge}{\leadsto}$			
50m バタフライ	男子	杉井 郁哉	4	タ決	24.72	7				
	女子	三浦 結依	4	タ決	32.42	8				
		好川 大雅	4	タ決	53.28	3				
		杉井 郁哉	4	タ決	54.30	12				
	ш 7	垣内 柊人	2	タ決	55.74	23	☆			
100 15777	男子	濱 享輔	3	タ決	56.69	26				
100m バタフライ		藤原 大彰	4	タ決	57.40	34	☆			
		有友 敬亮	4	タ決	58.37	37				
	女子	渡瀬 夢花里	2	タ決	1.01.85	8				
		三浦 結依	4	タ決	1.12.35	20				
		田中 一路	3	タ決	1.58.04	4				
		永井 悠介	2	タ決	2.01.01	12				
200 1577=7	男子	杉井 郁哉	4	タ決	2.01.67	14				
200m バタフライ		藤原 大彰	4	タ決	2.04.48	22	☆			
		濱 享輔	3	タ決	2.05.60	26				
	女子	渡瀬 夢花里	2	タ決	2.16.34	8				
		田中 一路	3	タ決	2.00.55	2				
200 / 4 1 1 1		1 77 78 24		タ決	2.02.76	10				
	田フ	大平 理登	2	チャレンジ	2.01.45	2				
200m 個人メドレー	男子	男子	男子	男子	手 提	2	タ決	2.03.12	12	
		重塚 笙	2	チャレンジ	2.00.91	1				
		西垣 祐輝	4	タ決	2.05.93	19				

今回の試合は、私にとって初めて関西学院大学として出場する大会だった。チャレンジレースがあったためインカレの参加標準記録の突破や、JAPAN OPEN の参加標準記録を目標とした選手が多く、刺激的なレースが多く見られた。私もチャレンジレースを泳ぎ、独特の空気感の中で緊張したが、会場全体の声援を受けて泳ぐことで、改めて応援の力を知ることができた。また、自分にとって初の学生主体の試合であり、初めて大会を運営する側の経験をした。この経験から大会を運営してくださっている方々に感謝を忘れないような選手になりたいと思った。

第92回兵庫県選手権水泳競技大会 開催日:2023/6/10(土)~2023/6/11(日) 会場:神戸ポートアイランドスポーツセンター

☆自己ベスト更新者 ★学院記録更新者

 種目	男女	氏名	 学年	予/決	記録	順位	備考
				予選	23.67	3	
		三原 慶悟	4	決勝	23.26	2	☆
				予選	24.19	8	
		中谷 志優	1	決勝	24.10	6	
	男子			予選	24.42	9	
50m 自由形		田中 駿真	3	決勝	24.46	8	
			_	予選	24.64	15	
		小嶋 虹佑	2	B 決勝	24.82	7	
	, =	mz		予選	27.66	11	
	女子	天野 百望	3	B 決勝	27.49	2	
				予選	51.03	2	☆
		三原 慶悟	4	決勝	51.22	3	
		\+ - +		予選	51.83	3	
		清水 歩空	2	決勝	51.81	4	
		1 TT TTI 3V.		予選	52.44	5	
		大平 理登	2	決勝	52.48	8	
100 5 + W	m 7	 1 ++>		予選	52.53	6	
100m 自由形	男子	高 大輔	4	決勝	51.92	5	
				予選	52.56	9	
		中谷 志優	1	B 決勝	52.43	1	
		伊藤 寛記	2	予選	53.78	23	
		田中 駿真	3	予選	54.04	25	
		津田 悠生	1	予選	55.58	42	
		小嶋 虹佑	2	予選	55.91	51	
		`± 1. :	-	予選	1.53.23	2	
		清水 歩空	2	決勝	1.52.88	3	
200m 自由形	男子		2	予選	1.54.76	8	
		山田 晃誠	3	決勝	1.54.08	8	
		垣内 柊人	2	予選	1.57.29	15	

				B 決勝	1.57.59	8	
		津田 悠生	1	予選	1.59.41	26	
		伊藤 寛記	2	予選	1.59.94	31	
		17 >+ 15		予選	4.04.07	7	
		増田 達哉	4	決勝	4.02.28	5	
400m 自由形	男子		2	予選	4.04.50	8	☆
		田中 一路	3	決勝	4.05.03	7	
		垣内 柊人	2	予選	4.13.43	20	
1500m 自由形	男子	大門 慶悟	3	タ決	16.25.95	3	
		÷ 1++	,	予選	57.30	2	
		高 大輔	4	決勝	57.16	2	
100 752 7"	ш -	11m + / 6		予選	59.56	5	
100m 背泳ぎ	男子	村田 李々冬	1	決勝	59.57	7	
		TT TH 3%	2	予選	1.00.09	7	
		大平 理登	2	決勝	59.47	5	
		÷ ++	4	予選	2.05.60	2	
200m 背泳ぎ	田フ	高 大輔	4	決勝	2.03.90	2	
200m 育冰さ	男子	++	. 1	予選	2.10.93	9	
		村田 李々冬	1	B 決勝	2.12.47	2	
		手塚 ケ	2	予選	1.03.71	2	☆
		重塚 笙	2	決勝	1.03.34	4	☆
		八木 大輝	2	予選	1.05.27	6	☆
100~ 東汶ギ	田之	八个人理	3	決勝	1.05.35	7	☆
100m 平泳ぎ	男子	+ 佐士	1	予選	1.05.36	7	☆
		武本 航志	1	決勝	1.04.90	6	☆
		/ + 恭 吉 l	4	予選	1.06.00	11	
		佐藤 亮士	4	B 決勝	1.05.64	2	
		手塚 ケ	2	予選	2.16.96	2	
		重塚 笙	2	決勝	2.15.49	3	
200 東冷せ	田フ	┐ ┤ ┴₩	2	予選	2.19.34	4	☆
200m 平泳ぎ	男子	八木 大輝	3	決勝	2.20.10	5	☆
			1	予選	2.21.05	6	☆
		武本 航志	1	決勝	2.22.33	6	
100m バタフライ	+2	渡瀬 夢花里	2	予選	1.02.85	3	
100111ハプノノイ	女子	成概 罗化里	2	決勝	1.02.75	2	
200m バタフライ	男子	藤原 大彰	4	予選	2.10.21	13	

				B 決勝	2.10.01	4	
			2	予選	2.10.29	14	
		大門 慶悟	3	B 決勝	2.10.14	5	
	/ 7 \\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	海海 带井田	_	予選	2.17.42	1	
	女子	渡瀬 夢花里	2	決勝	2.17.22	1	
			2	予選	2.08.16	7	
200m 個人メドレー	男子	田中 一路	3	決勝	2.04.43	2	\Rightarrow
		西垣 祐輝	4	予選	棄権	·	

観戦記

津田 悠生

この試合では、大学に入り、初めての長水路の試合だった。兵庫県選手権は、ジュニアから大人まで 兵庫県の選手が集まり、とてもレベルが高い試合だと感じた。今年から応援が許可され、今までとは違 った雰囲気で緊張感があった。その中でも先輩たちや同期が決勝に残り、表彰台に上がる姿を見て刺激 を受けた。自分もレベルの高い試合で結果を残せるようにしたいと思った。

4. 2023 年度大阪府選手権水泳競技大会

開催日:2023/6/10(土)~2023/6/11(日)

会場:東和薬品 RACTAB ドーム

☆自己ベスト更新者 ★学院記録更新者

種目	男女	氏名	学年	予/決	記録	順位	備考
	m -7	£ 111 A± 1		予選	23.48	3	
50m自由形	男子	久世 航大	3	決勝	23.34	3	
	女子	佐野 仁美	3	予選	29.79	10	
	H 7	5.44 6∸. 4	2	予選	51.35	7	\Rightarrow
100m自由形	男子	久世 航大	3	決勝	51.63	6	
	女子	佐野 仁美	3	予選	1.04.80	15	
		海田 恭之	2	予選	2.10.90	20	
200m自由形	女子	演田 莉子	3	B 決勝	2.10.61	8	
		佐野 仁美	3	予選	2.20.90	59	
		丸山 碧斗	1	予選	1.04.19	13	\Rightarrow
100 亚冷芒	H 7	九川 岩斗	1	B 決勝	1.04.40	14	
100m平泳ぎ	男子	武樋 祥太郎	4	予選	1.05.69	19	
			4	B 決勝	1.05.61	20	
200 亚总型	H 7	も J. 手負 A.	4	予選	2.21.77	19	
200m平泳ぎ	男子	丸山 碧斗	1	B 決勝	2.21.81	16	
50 ··· / / / / / /	H 7	47 III - ⊥ π#	4	予選	24.75	2	
50mバタフライ	男子	好川 大雅	4	決勝	24.64	3	
100mバタフライ	H 7	47 III - ⊥ π#	_	予選	55.52	8	
	男子	好川 大雅	4	決勝	54.66	6	
200···/伊 [, /] [*] !	<i></i>	海田 恭之	2	予選	2.25.97	19	
200m個人メドレー	女子	演田 莉子	3	決勝	2.24.51	16	☆

丸山 碧斗

今回の試合は、大阪府出身者のみの出場であり、少人数での参加となった。シーズン初めの試合であったため、それぞれが、シーズンに向けての課題を見つける収穫のある試合になったと私自身感じた。 今シーズン初の長水路での試合であったが、自己ベストを更新した選手や、レベルの高い中決勝、B決勝に進出した選手が多くとても盛り上がった。

5. 第 11 回関西学生チャンピオンシップ水泳競技大会

開催日:2023/6/17(土)~2023/6/18(日)

会場:丸善インテック大阪プール

☆自己ベスト更新者 ★学院記録更新者

種目	男女	氏名	学年	予/決	記録	順位	備考									
		£ 111 ££ 1	_	予選	23.40	3										
		久世 航大	3	A 決勝	23.27	3										
		十公 十万	1	予選	24.12	12										
	m 7	中谷 志優	1	B 決勝	24.14	6										
	男子	田中 駿真	3	予選	24.39	18										
50m 自由形		長澤 樹	3	予選	24.40	19										
		小嶋 虹佑	2	予選	24.91	35										
		高橋 優輝	4	予選	25.88	58										
	<i></i>	丁丽 <u>丁</u> 相	2	予選	27.40	6										
	女子	天野 百望	3	A 決勝	27.18	5										
	男子	5 111 5±1	2	予選	51.21	4	$\stackrel{\wedge}{\sim}$									
		久世 航大	3	A 決勝	51.24	5										
		山公 土 盾		予選	52.15	9										
		中谷 志優	1	B 決勝	52.23	3										
		建业 华南	2	予選	52.18	10										
		清水 歩空	2	B 決勝	51.86	2										
100 白中形		大平 理登	2	予選	53.03	18										
100m 自由形		伊藤 寛記	2	予選	53.21	21	\Rightarrow									
		長澤 樹	3	予選	53.68	33										
										-	田中 駿真	3	予選	54.00	38	
		小嶋 虹佑	2	予選	55.52	64										
		工取 五旬	2	予選	59.88	7										
	女子	天野 百望	3	A 決勝	59.22	7										
		佐野 仁美	3	予選	棄権											
200m 自由形		清水 歩空	2	予選	1.53.69	9										
	男子	三原 慶悟	4	予選	1.53.92	10										
	力丁	山田 晃誠	3	予選	1.54.33	12										
		杉井 郁哉	4	予選	1.56.77	21										

		垣内 柊人	2	予選	1.56.96	23	
		津田 悠生	1	予選	2.00.24	41	
		伊藤 寛記	2	予選	2.01.38	45	
	女子	佐野 仁美	3	予選	棄権		
				予選	4.03.67	5	
4. 1.74		山田 晃誠	3	A 決勝	4.01.56	5	
400m 自由形	男子	大門 慶悟	3	予選	4.08.33	11	
		垣内 柊人	2	予選	4.11.96	16	☆
1500m 自由形	男子	大門 慶悟	3	タ決	16.27.58	6	
				予選	57.07	1	
		高 大輔	4	A 決勝	56.49	1	
	男子	1711		予選	59.34	10	
100m 背泳ぎ		好川 大雅	4	B 決勝	59.66	2	
		西垣 祐輝	4	予選	1.00.83	20	
	4.7	濵田 莉子	3	予選	1.07.59	18	
	女子	山城 夢芽	2	予選	1.07.94	19	
	男子	÷ 1 +*		予選	2.05.46	2	
200m 背泳ぎ		高 大輔	4	A 決勝	2.02.57	1	☆
	女子	山城 夢芽	2	予選	2.27.24	13	
		光	·	予選	1.04.03	13	
		重塚 笙	2	B 決勝	1.03.63	2	
		丸山 碧斗	1	予選	1.04.45	18	
100 平泳ぎ	田フ	武本 航志	1	予選	1.04.88	24	$\stackrel{\wedge}{\searrow}$
100m 平泳ぎ	男子	八木 大輝	3	予選	1.04.99	25	$\stackrel{\wedge}{\sim}$
		佐藤 亮士	4	予選	1.05.71	29	
		森谷 郁海	1	予選	1.05.92	30	
		中西 孝太	1	予選	1.12. 41	68	
		重塚 笙	2	予選	2.17.63	9	
		森谷 郁海	1	予選	2.19.10	13	
200~ 平分学	⊞ <i>7</i>	八木 大輝	3	予選	2.19.62	15	
200m 平泳ぎ	男子	丸山 碧斗	1	予選	2.20.99	20	
		武本 航志	1	予選	2.21.03	21	☆
		武樋 祥太郎	4	予選	2.24.05	25	
100m バタフライ	男子	好川 大雅	4	予選	55.28	9	

お井 郁哉 4			i					
杉井 郁哉 4 B 決勝 55.28 3 水井 悠介 2 万選 55.61 14 水井 悠介 大平 理登 2 予選 57.23 24 渡 亨輔 3 予選 57.34 26 藤原 大彩 4 予選 58.68 35 ☆ 有友 敬奈 4 予選 1.00.41 45 女子 渡瀬 夢花里 2 予選 1.02.58 3 ☆ 上浦 結依 4 予選 2.04.47 6 A決勝 2.02.40 3 水井 悠介 2 予選 2.04.47 6 A決勝 2.02.40 3 藤原 大彩 4 予選 2.09.81 17 ☆ 水井 悠介 2 予選 2.11.66 21 水井 悠介 3 予選 2.11.66 21 東京 3 予選 2.11.66 21 東京 3 予選 2.17.76 5 三浦 結依 4 予選 2.47.33 13 田中 -路 3 予選 2.06.60 3 み決勝 2.03.59 1 ☆ ☆ 女子 濱田 莉子 3 予選 2.25.35 10 西垣 在鮮 4 予選 2.25.35 10 B 決勝 2.24.55 2 子選 4.35.15 2 田中 一路 3 予選 4.48.75 8 大野・山城 濱田 濱那 4.48.75 8 み決勝 4.45.97 8 本100m ブリーリレ 清水・高 7 夕決 4.01.63 4 4×100m メドレーリレ 清水・高 7 夕決 4.27.79 4 本100m メドレーリレ 接升・高 女子 山城 濱田 濱瀬 天野 7 夕決 4.27.79 4					B 決勝	55.09	2	
### A P A P A P A P A P A P A P A P A P			+<-++ +n+h	4	予選	55.43	10	
水井 悠介 2 B 決勝 56.04 7 大平 理登 2 予選 57.23 24 演享輔 3 予選 57.34 26 藤原 大彩 4 予選 58.68 35 ☆ 有友 敬亮 4 予選 1.00.41 45 本子選 1.02.58 3 ☆ 本 決勝 1.02.45 4 ☆ 本 決勝 1.02.45 4 ☆ 本 決勝 2.04.47 6 4 決勝 2.02.40 3 本 方麗 2.02.40 3 ☆ 2 ※ 2 ※ 本 方麗 2.02.40 3 ☆ ※ 2 ※ 2 ※ 本 方麗 2.02.40 3 ☆ ※ ※ 2 ※ 2 ※ 2 ※ 2 ※ 2 ※ 2 ※ ※ 2 ※ ※ 2 ※ ※ 2 ※ ※ 2 ※ ※ ※ 2 ※ ※ ※ ※ 2 ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※				4	B 決勝	55.28	3	
大平理登 2 字図 57.23 24 大平理登 2 字図 57.23 24 演享輔 3 字図 57.34 26 藤原大彰 4 字図 58.68 35 ☆ 有友敬亮 4 字図 1.00.41 45 子選 1.02.58 3 ☆ A 決勝 1.02.45 4 ☆ 三浦 結依 4 子選 2.04.47 6 A 決勝 2.02.40 3 藤原大彰 4 子選 2.09.81 17 ☆ 藤原大彰 4 子選 2.09.81 17 ☆ 藤原大彰 4 子選 2.09.81 17 ☆ 京享輔 3 子選 2.11.66 21 子選 2.11.66 21 子選 2.11.66 21 子選 2.17.76 5 三浦 結依 4 子選 2.47.33 13 田中一路 3 子選 2.17.76 5 三浦 結体 4 子選 2.47.33 13 田中一路 3 子選 2.06.60 3 A 決勝 2.03.59 1 ☆ 本100m 個人メドレー			> 11 45 A	_	予選	55.61	14	
渡亨輔 3 予選 57.34 26			水井 悠介	2	B 決勝	56.04	7	
藤原 大彰 4 予選 58.68 35 ☆ 有友 敬売 4 予選 1.00.41 45 女子 渡瀬 夢花里 2 石 八分 八分 八分 八分 八分 八分 八分			大平 理登	2	予選	57.23	24	
## 200m パタフライ 表示 数字			濱 享輔	3	予選	57.34	26	
女子 渡瀬 夢花里 2 予選 1.02.58 3 ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆			藤原 大彰	4	予選	58.68	35	\Rightarrow
女子 渡瀬 夢花里 2			有友 敬亮	4	予選	1.00.41	45	
女子					予選	1.02.58	3	☆
## 200m パタフライ ## 2 2 2.04.47 6 A 決勝 2.02.40 3 液原 大彰 4 予選 2.09.81 17 ☆ 次 液原 大彰 4 予選 2.09.81 17 ☆ 次 次 次 次 次 次 次 次 次		女子	渡瀬 夢花里 	2	A 決勝	1.02.45	4	☆
200m パタフライ 東子 次井 悠介 2 予選 2.04.47 6 藤原 大彰 4 予選 2.09.81 17 ☆ 漢事輔 3 予選 2.11.66 21 女子 渡瀬 夢花里 2 予選 2.17.76 5 三浦 結依 4 予選 2.47.33 13 子選 2.06.60 3 A 決勝 2.03.59 1 ☆ 女子 渡田 荊子 3 予選 2.25.35 10 B 決勝 2.24.55 2 A 決勝 4.27.65 2 A 決勝 4.27.65 2 A 決勝 4.27.65 2 A 決勝 4.48.75 8 B 決勝 4.45.97 8 B 決勝 4.45.97 8 A ※100m ブリーリレー 女子 天野・山城 濵田・波瀬 夕決 4.01.63 4 A ※100m メドレーリレー 女子 山城 濵田・渡瀬・天野 夕決 4.27.79 4			三浦 結依	4	予選	 棄権		
男子 展原 大彰 4 予選 2.02.40 3 3 ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆					予選	2.04.47	6	
B子 藤原 大彰 4 予選 2.09.81 17 ☆ 次章 字離 3 予選 2.11.66 21 字選 2.19.79 5 字選 2.17.76 5 字選 2.17.76 5 字選 2.47.33 13 13 字選 2.06.60 3 A 決勝 2.03.59 1 ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆			永井 悠介	2	 A 決勝	2.02.40	3	
接換 で		男子		4		2.09.81		☆
女子 渡瀬 夢花里 2 予選 2.19.79 5 子選 2.17.76 5 三浦 結依 4 予選 2.47.33 13 200m 個人メドレー 男子 西垣 祐輝 4 予選 2.06.60 3 400m 個人メドレー 男子 田中 一路 3 予選 2.25.35 10 400m 個人メドレー 男子 田中 一路 3 予選 2.25.35 10 第 決勝 4.35.15 2 A×100m Jリーリレー 女子 天野・山城 演旧・波瀬 夕決 4.01.63 4 4×100m メドレーリレー 女子 山城・演田 渡瀬・下野 夕決 4.27.79 4	200m バタフライ							
接瀬 夢花里 2 予選 2.17.76 5 三浦 結依 4 予選 2.47.33 13 田中 一路 3 予選 2.06.60 3 A 決勝 2.03.59 1 ☆ 西垣 祐輝 4 予選 2.12.73 14 女子 濱田 莉子 3 予選 2.25.35 10 B 決勝 2.24.55 2 A 決勝 4.35.15 2 A 決勝 4.27.65 2 A 決勝 4.48.75 8 B 決勝 4.48.75 8 A 未 100 m ブリーリレー 女子 元禄 次世 次世 次世 次世 次世 次世 次世 次								
三浦 結依 4 予選 2.47.33 13 200m 個人メドレー 男子 田中 一路 3 予選 2.06.60 3 400m 個人メドレー 男子 田中 一路 3 予選 2.25.35 10 400m 個人メドレー 男子 田中 一路 3 予選 4.35.15 2 4×100m ブリーリレー 女子 大野・山城 濵田・渡瀬 夕決 4.01.63 4 4×100m メドレーリレー 女子 山城・濵田 渡瀬・天野 夕決 4.27.79 4 200m 個人メドレーリレー 女子 大野・山城 濵田・渡瀬 ク決 4.27.79 4 4×100m メドレーリレー 女子 山城・濵田 濵瀬・天野 夕決 4.27.79 4		女子		2				
田中 一路 3 予選 2.06.60 3 A 決勝 2.03.59 1 ☆ 西垣 祐輝 4 予選 2.12.73 14 女子 濱田 莉子 3 P選 2.25.35 10 B 決勝 2.24.55 2 田中 一路 3 予選 4.35.15 2 A 決勝 4.27.65 2 A 決勝 4.27.65 2 A 決勝 4.48.75 8 正樋 祥太郎 4 P選 4.48.75 8 正樋 祥太郎 4 P選 4.48.75 8 正旭 祥太郎 4 P選 4.48.75 8 正旭 祥太郎 4 P選 4.48.75 8				4				
田中 一路 3 A 決勝 2.03.59 1 ☆			-713 1412	•				
200m個人メドレー 西垣 祐輝 4 予選 2.12.73 14 女子 演田 莉子 3 予選 2.25.35 10 B 決勝 2.24.55 2 子選 4.35.15 2 A 決勝 4.27.65 2 A 決勝 4.27.65 2 F選 4.48.75 8 B 決勝 4.45.97 8 F野・山城 演田・渡瀬 夕決 4.01.63 4 サス・100m メドレーリレー 女子 山城・演田 渡瀬・天野 夕決 4.27.79 4		甲子	田中 一路	3				₹
女子 演田 莉子 3 予選 2.25.35 10 400m 個人メドレー 男子 田中 一路 3 予選 4.35.15 2 4 (A) 表別 4.48.75 8 4×100m フリーリレー 女子 天野・山城 演田・渡瀬 夕決 4.01.63 4 4×100m メドレーリレー 女子 山城・濱田 渡瀬・天野 夕決 4.27.79 4	200m 個人メドレー	23.3	 西垣 祐輝	4				
女子 演田 莉子 3 B 決勝 2.24.55 2 400m 個人メドレー 男子 田中 一路 3 予選 4.35.15 2 A 決勝 4.27.65 2 A 決勝 4.48.75 8 B 決勝 4.48.75 8 B 決勝 4.48.75 8 B 決勝 4.48.75 8 B 決勝 4.48.75 8 A × 100m メドレーリレー 女子 基別・大野 タ決 4.27.79 4	Loom Idy () ()		H'= TH/F					
400m 個人メドレー 男子 田中 一路 3 予選 4.35.15 2 4×100mフリーリレー 女子 天野・山城 濱田・渡瀬 夕決 4.45.97 8 4×100m メドレーリレー 女子 三原・久世 清水・高 夕決 3.24.96 1 4×100m メドレーリレー 女子 山城・濱田 渡瀬・天野 夕決 4.27.79 4		女子	濵田 莉子	3				
400m 個人メドレー 田中 一路 3 A 決勝 4.27.65 2 4×100m メドレーリレー 男子 天野・山城 濱田・渡瀬 夕決 4.27.79 4 4×100m メドレーリレー 女子 山城・濱田 渡瀬・天野 夕決 4.27.79 4								
400m個人メドレー 男子 武樋 祥太郎 4 予選 4.48.75 8 B 決勝 4.45.97 8 女子 天野・山城 濵田・渡瀬 夕決 4.01.63 4 男子 三原・久世 清水・高 夕決 3.24.96 1 4×100m メドレーリレー 女子 山城・濵田 渡瀬・天野 夕決 4.27.79 4			田中 一路	3				
本×100mフリーリレー 女子 天野・山城 濱田・渡瀬 夕決 4.01.63 4 サイン・フリーリレー 大野・山城 濱田・渡瀬 夕決 3.24.96 1 4×100m メドレーリレー 女子 山城・濱田 渡瀬・天野 夕決 4.27.79 4	400m 個人メドレー	男子						
4×100mフリーリレー 女子 天野・山城 濱田・渡瀬 夕決 4.01.63 4 男子 三原・久世 清水・高 夕決 3.24.96 1 4×100m メドレーリレー 女子 山城・濱田 渡瀬・天野 夕決 4.27.79 4			武樋 祥太郎	4				
4×100mフリーリレー 女子 演田・渡瀬 夕決 4.01.63 4 男子 三原・久世 清水・高 夕決 3.24.96 1 4×100m メドレーリレー 女子 山城・濵田 渡瀬・天野 夕決 4.27.79 4			工 野 . 山		D /\\\I\\\\I\\\\\	4.45.51	0	
男子 三原・久世 清水・高 夕決 3.24.96 1 4×100m メドレーリレー 女子 山城・濱田 渡瀬・天野 夕決 4.27.79 4		×100mフリーリレー			タ決	4.01.63	4	
オ×100m メドレーリレー 女子 山城・濵田 渡瀬・天野 タ決 4.27.79 4	4×100mフリーリレー				タ決	3 24 96	1	
女子 夕決 4.27.79 4 4×100m メドレーリレー 渡瀬・天野 2			清水・高		7 //	J.L 1.50		
	4×100m メドレーリレー	女子			タ決	4.27.79	4	
万丁 同・里塚 7次 3.4/.05 2		 男子	高·重塚		タ決	3.47.65	2	

		好川・三原				
4 200 7 7 11 111	女子	濵田·山城 天野·渡瀬	タ決	8.50.32	3	
4×200m フリーリレー	男子	田中一·三原 清水·高	タ決	7.37.30	1	

観戦記

森谷 郁海

今回の試合では、関西学生選手権に向けて自分たちの立ち位置を知ることができた。私自身の結果としては、決勝にも残れず不甲斐ない結果となったが、改善点も把握することができ、とても有意義な試合になったと思う。

6. 第 97 回関西学生選手権水泳競技大会

開催日:2023/7/28 (金) ~2023/7/30 (日)

会場:秋葉山公園県民水泳場

男子50m自由形

ээ э оонн д да	333				
順位	氏名	大学名	記録	備考	
1	重藤 流世	近畿大	22.67	大会新	
2	猿山 翔太	同志社大	22.76		
3	羽岡 草太	近畿大	23.23		
4	三原 慶悟	関西学院	23.42		
予選	三原 慶悟	関西学院	23.68		
予選	中谷 志優	関西学院	24.18		
予選	長澤 樹	関西学院	24.47		

男子100m自由形

222				
順位	氏名	大学名	記録	備考
1	木本 憲大	近畿大	49.98	
2	重藤 流世	近畿大	50.34	
3	猿山 翔太	同志社大	50.96	
6	三原 慶悟	関西学院	51.42	
8	久世 航大	関西学院	51.89	
予選	久世 航大	関西学院	51.44	
予選	三原 慶悟	関西学院	51.62	
予選	清水 歩空	関西学院	52.05	

男子200m自由形

順位	氏名	大学名	記録	備考
1	多鹿 正洋	近畿大	1.50.21	
2	今村 圭吾	近畿大	1.50.55	
3	清水 歩空	関西学院	1.52.38	
予選	清水 歩空	関西学院	1.54.21	
予選	増田 達哉	関西学院	棄権	
予選	山田 晃誠	関西学院	棄権	

男子400m自由形

順位	氏名	大学名	記録	備考
1	劉 政頻	近畿大	3.54.09	
2	今村 圭吾	近畿大	3.55.35	
3	萩原 涼介	関西大	4.00.10	
予選	大門 慶悟	関西学院	4.09.17	
予選	増田 達哉	関西学院	棄権	
予選	山田 晃誠	関西学院	棄権	

男子1500m自由形

順位	氏名	大学名	記録	備考
タ決①	生見 泰聖	近畿大	15.34.26	
タ決②	久保田 一矢	近畿大	15.56.64	
タ決③	加藤 睦也	近畿大	15.59.32	
タ決⑥	大門 慶悟	関西学院	16.21.55	

☆自己ベスト更新者 ★学院記録更新者

女子50m自由形

順位	氏名	記録	備考
1	片山 珠里	26.21	
2	吉田 芽生	26.84	
3	水谷 楓	27.06	
2	天野 百望	27.16	
予選	天野 百望	27.37	

女子100m自由形

243 22000	213					
順位	氏名	記録	備考			
1	片山 珠里	56.44				
2	梅木 陽向	57.46				
3	中村 百恵	58.51				
1	天野 百望	58.78				
予選	天野 百望	59.33				
予選	渡瀬 夢花里	1.01.71				
予選	佐野 仁美	1.02.67				
予選	天野 百望 渡瀬 夢花里	59.33 1.01.71				

女子200m自由形

順位	氏名	記録	備考
1	高谷 海咲	2.04.20	
2	梅木 陽向	2.05.56	
3	渡邉 美有	2.05.62	
2	佐野 仁美	2.16.34	

女子400m自由形

順位	氏名	記録	備考
1	高谷 海咲	4.22.81	
2	内田 真樹	4.25.79	
3	瀬賀 映佳	4.27.05	

女子800m自由形

順位	氏名	記録	備考
タ決①	内田 真樹	8.58.10	
タ決②	瀬賀 映佳	9.12.29	
タ決③	川崎 優杏	9.18.68	

男子100m背泳ぎ

順位	氏名	大学名	記録	備考
1	高 大輔	関西学院	56.31	☆
2	奈須 一樹	近畿大	56.36	
3	高橋 篤広	大阪体 育 大	57.56	
予選	高 大輔	関西学院	56.66	
予選	大平 理登	関西学院	58.71	
予選	村田 李々冬	関西学院	1.00.62	

女子100m背泳ぎ

順位	氏名	記録	備考
1	渡会 円香	1.02.07	
2	芝 咲菜	1.03.46	
3	土本 夕愛	1.04.75	
2	山城 夢芽	1.07.60	☆
予選	山城 夢芽	1.08.53	

男子200m背泳ぎ

順位	氏名	大学名	記録	備考
1	奈須 一樹	近畿大	2.03.10	
2	高 大輔	関西学院	2.03.39	
3	安江 有貴	近畿大	2.04.03	
予選	高 大輔	関西学院	2.05.05	
予選	西垣 祐輝	関西学院	2.14.22	

女子200m背泳ぎ

	•		
順位	氏名	記録	備考
1	渡会 円香	2.14.67	
2	芝 咲菜	2.15.14	
3	前川 優里亜	2.18.80	
1	山城 夢芽	2.26.90	

男子100m平泳ぎ

順位	氏名	大学名	記録	備考
1	大蔵 礼生	近畿大	1.01.34	
2	今西 優太	近畿大	1.01.49	
3	神園 航平	近畿大	1.02.42	
6	重塚 笙	関西学院	1.03.10	☆
予選	重塚 笙	関西学院	1.03.29	☆
予選	武本 航志	関西学院	1.04.86	☆
予選	丸山 碧斗	関西学院	棄権	

女子100m平泳ぎ

順位	氏名	記録	備考
1	岡田 侑奈	1.08.95	
2	鍵本 彩夏	1.10.74	
3	小阪 愛音	1.11.70	

男子200m平泳ぎ

順位	氏名	大学名	記録	備考
1	今西 優太	近畿大	2.14.60	
2	廣本 新	関西大	2.14.89	
3	重塚 笙	関西学院	2.14.96	☆
予選	重塚 笙	関西学院	2.16.54	
予選	森谷 郁海	関西学院	2.18.33	
予選	八木 大輝	関西学院	2.20.27	

女子200m平泳ぎ

順位	氏名	記録	備考
1	松木 琴美	2.28.75	
2	岡田 侑奈	2.31.21	
3	田積 帆乃果	2.31.80	

男子100mバタフライ

. 22 J TOOIII 7 . 7	^ / / 1			
順位	氏名	大学名	記録	備考
1	志水 建斗	甲南大	53.42	
2	三浦 圭人	近畿大	53.98	
3	友田 和志	大阪体 育 大	54.2	
4	杉井 郁哉	関西学院	54.44	
(5)	好川 大雅	関西学院	54.53	
予選	杉井 郁哉	関西学院	54.72	
予選	好川 大雅	関西学院	55.09	
予選	永井 悠介	関西学院	55.81	

女子100mバタフライ

順位	氏名	記録	備考
1	藤本 穏	59.46	
2	星山 茅奈	1.00.60	
3	野瀬 里紗	1.01.82	
2	渡瀬 夢花里	1.02.73	
予選	渡瀬 夢花里	1.03.78	
予選	三浦 結依	1.14.41	

男子200mバタフライ

順位	氏名	大学名	記録	備考
1	三浦 圭人	近畿大	1.58.83	
2	十亀 正暉	同志社大	1.59.48	
3	高木 陸	近畿大	2.00.34	
(5)	永井 悠介	関西学院	2.03.14	
予選	永井 悠介	関西学院	2.03.58	
予選	濱 享輔	関西学院	2.10.43	
予選	藤原 大彰	関西学院	2.10.96	☆

男子200m個人メドレー

順位	氏名	大学名	記録	備考
1	木本 憲太	近畿大	2.00.19	
2	山田 海斗	近畿大	2.02.77	
3	田中一路	関西学院	2.04.88	
6	大平 理登	関西学院	2.06.68	
予選	田中一路	関西学院	2.06.00	
予選	大平 理登	関西学院	2.07.15	

男子400m個人メドレー

順位	氏名	大学名	記録	備考
1	田中 一路	関西学院	4.25.43	
2	菅野 広大	近畿大	4.26.81	
3	山田 海斗	近畿大	4.28.95	
予選	田中 一路	関西学院	4.34.40	
予選	武樋 祥太郎	関西学院	4.46.52	

男子4×100m フリーリレー

順位	大学名	氏名	記録	備考
1	近畿大	羽岡・重藤	3.22.34	
		三宅・多鹿三原・清水		
2	関西学院	高・久世	3.25.07	
3	同志社大	長島・猿山	3.26.38	
9	PINGILX	峰尾・説田	3.20.30	

女子200mバタフライ

順位	氏名	記録	備考
1	藤本 穏	2.10.00	
2	湯口 百恵	2.16.40	
3	星山 茅奈	2.16.53	

女子200m個人メドレー

氏名	記録	備考
松木 琴美	2.17.34	
鍵本 彩夏	2.19.84	
青山 美咲	2.21.01	
濵田 莉子	2.23.45	☆
濵田 莉子	2.28.23	
	松木 琴美鍵本 彩夏青山 美咲演田 莉子	松木 琴美 2.17.34 鍵本 彩夏 2.19.84 青山 美咲 2.21.01 濵田 莉子 2.23.45

女子400m個人メドレー

順位	氏名	記録	備考
1	田積 帆乃果	4.56.73	
2	枡井 萌	4.57.98	
3	皆見 香琳	4.58.30	
2	濵田 莉子	5.08.00	☆

女子4×50mフリーリレー

順位	大学名	記録	備考
1	立命館大	1.48.62	
2	関西学院	1.49.98	
3	大阪国 際 大	1.51.22	

女子4×100m フリーリレー

順位	大学名	記録	備考
1	武庫川女子大	3.50.64	大会新
2	近畿大	3.52.60	
3	大阪体 育 大学	3.55.05	
2	関西学院	4.01.22	

男子4×200m フリーリレー

順位	大学名	氏名	記録	備考
1	近畿大	劉·今村 木本·多鹿	7.23.21	
2	関西学院	清水・杉井 三原・高	7.34.93	
3	関西大	佐藤・萩原 廣本・印南澄	7.37.80	

男子4×100m メドレーリレー

順位	大学名	氏名	記録	備考
<u>(1)</u>	近畿大	奈須・大蔵	3,40,43	
•	火上 ■X5 / へ	三浦・木本	3.40.43	
2	関西学院	高・重塚	3.45.19	
	内凹于坑	杉井・三原	3.43.13	
3	大阪体育大	辻本・関	3,46,61	
9	八欧仲月八	友田・大山	3.40.01	

女子4×200m フリーリレー

順位	大学名	記録	備考
1	武庫川女子大	8.21.23	
2	近畿大	8.25.80	
3	関西大	8.26.96	

女子4×100m メドレーリレー

順位	大学名	記録	備考
1	近畿大	4.09.27	
2	同志社大	4.13.58	
3	関西大	4.19.46	
2	関西学院	4.25.41	

総合順位

(男子一部)

1位	近畿大	272.0点
2位	関西学院	115.5点
3位	大阪体育大	86.0点
4位	同志社大	83.5点
5位	関西大	53.0点
6位	甲南大	49.0点
7位	立命館大	28.0点
8位	天理大	16.0点

(女子一部)

1位	近畿大	191.0点
2位	武庫川女子大	166.0点
3 位	大阪体育大	96.0点
4 位	同志社大	83.0点
5 位	関西大	78.0点
6 位	天理大	49.0点
7 位	びわこ成蹊大	27.0点
8位	大阪大	10.0点

観戦記

中谷 志優

この大会は、私にとって、大学での初めての学校対抗の試合であり、今までの試合よりも各チームに 団結力が見られ、盛り上がりもすごく、緊張感のある試合だった。私自身、その空気、緊張感にのまれ てしまい、点数に絡めずに終わってしまった。その中でも、応援を力に変え、その空気感を楽しみ、ベストを出す先輩方も多くいて、感銘を受けた。来年はそのような先輩方のように、チームに貢献できる 強い選手になりたいと強く思った。

7. 第11回関西学生夏季長水路公認記録会

開催日:2023/8/20

会場:神戸市立ポートアイランドスポーツセンター

☆自己ベスト更新者 ★学院記録更新者

任口		т 5	24 4-	1	=7/3	1	I
種目	男女	氏名	学年	予決	記録	順位	備考
		高橋優輝	4	タ決	26.06	65	
		小嶋虹佑	2	タ決	24.92	26	
50m自由形	男子	田中駿真	3	タ決	24.85	23	
		中谷志優	1	タ決	23.91	3	
		長澤樹	3	タ決	24.68	15	
	女子	佐野仁美	3	タ決	1.01.90	12	
		中西孝太	1	タ決	54.97	32	☆
		津田悠生	1	タ決	54.84	30	
100~白中形		小嶋虹佑	2	タ決	55.77	40	
100m自由形	男子	田中駿真	3	タ決	53.82	15	
		垣内柊人	2	タ決	棄権		
		伊藤寛記	2	タ決	53.57	10	
		中谷志優	1	タ決	52.76	3	
	女子	佐野仁美	3	タ決	2.15.13	9	
		伊藤寛記	2	タ決	2.00.79	23	
200m自由形	m 7	津田悠生	1	タ決	1.59.11	11	
	男子	垣内柊人	2	タ決	棄権		
		中谷志優	1	タ決	1.57.01	6	
400m自由形	男子	増田達哉	4	タ決	4.09.46	6	
1500m自由形	男子	大門慶悟	3	タ決	16.32.21	2	
100 752 7	ш ¬	西垣祐輝	4	タ決	1.00.57	4	
100m背泳ぎ	男子	高大輔	4	タ決	57.24	1	
		武樋祥太郎	4	タ決	1.05.30	9	
100m平泳ぎ	男子	佐藤亮士	4	タ決	1.05.99	13	
		八木大輝	3	タ決	1.05.09	7	
200m平泳ぎ	男子	武樋祥太郎	4	タ決	2.21.86	6	
100mバタフライ	女子	三浦結依	4	タ決	1.14.15	9	

		1			1		
		有友敬亮	4	タ決	1.00.10	23	
	田フ	濱享輔	3	タ決	57.08	4	
	男子 -	垣内柊人	2	タ決	棄権		
		藤原大彰	4	タ決	58.52	13	☆
		藤原大彰	4	タ決	2.09.38	4	☆
200mバタフライ	男子	大門慶悟	3	タ決	2.10.95	6	
		濱享輔	3	タ決	2.09.56	5	
200m個人メドレー	男子	中西孝太	1	タ決	2.22.41	17	☆

観戦記

中西 孝太

今回の試合で終わりの4回生の方もおり前の試合とは違った空気があった。最後の試合という緊張感や 寂しさのある中でベストタイムを更新する4回生がおり、そのおかげで自分もベストタイムを更新するこ とが出来たと思う。主将を中心とする応援も皆の力になった。今回の試合で改めて応援の力を知った。こ の経験を忘れないためにも今後の試合で応援をしっかりとしていきたいと思う。

8. 第99回日本学生選手権水泳競技大会

開催日:2023/8/31 (木) ~2023/9/3 (日)

会場:東京アクアティックスセンター

男子50m自由形

	ПШЛ			
順位	氏名	大学名	記録	備考
1	須田 悠介	早稲田大	22.38	
2	重藤 流世	近畿大	22.46	
3	松原 光佑	新潟医福大	22.49	
予選	久世 航大	関西学院	23.16	☆
予選	三原 慶悟	関西学院	24.1	

男子100m自由形

順位	氏名	大学名	記録	備考
1	田中 大寛	早稲田大	48.84	
2	柳本 幸之介	日本大	49.05	
3	原 空輝	早稲田大	49.2	
予選	久世 航大	関西学院	51.16	☆
予選	三原 慶悟	関西学院	51.79	
予選	清水 歩空	関西学院	52.06	

男子200m自由形

順位	氏名	大学名	記録	備考
1	柳本 幸之介	日本大	1.47.46	
2	田中 大寛	早稲田大	1.47.89	
3	清水 博斗	明治大	1.48.18	
予選	清水 歩空	関西学院	1.54.23	
予選	増田 達哉	関西学院	1.55.42	
予選	山田 晃誠	関西学院	1.55.92	

男子400m自由形

順位	氏名	大学名	記録	備考
1	黒川 紫唯	近畿大	3.50.00	
2	井本 一輝	中央大	3.50.24	
3	清水 博斗	明治大	3.51.02	
予選	増田 達哉	関西学院	4.04.00	
予選	山田 晃誠	関西学院	4.05.14	

男子1500m自由形

順位	氏名	大学名	記録	備考
1	井本 一輝	中央大	15.13.69	
2	橋本 和賢	神奈川大	15.15.47	
3	宮木 宏悦	中京大	15.16.12	

男子100m背泳ぎ

3) 100m A //C						
順位	氏名	大学名	記録	備考		
1	柳川 大樹	明治大	53.86			
2	松山 陸	明治大	54.23			
3	三浦 玲央	筑波大	54.5			
予選	高 大輔	関西学院	56.54			
予選	村田 李々冬	関西学院	59.74			

☆自己ベスト更新者 ★学院記録更新者

女子50m自由形

順位	氏名	大学名	記録	備考
1	今牧 まりあ	早稲田大	25.24	
2	松本 信歩	早稲田大	25.3	
3	神野 ゆめ	中京大	25.33	
予選	天野 百望	関西学院	27.25	

女子100m自由形

順位	氏名	大学名	記録	備考
1	池本 凪沙	中央大	54.11	
2	神野 ゆめ	中京大	55.03	
3	廣下 菜月	中京大	55.23	
予選	天野 百望	関西学院	58.5	

女子200m自由形

順位	氏名	大学名	記録	備考
1	池本 凪沙	中央大	1.58.57	
2	長尾 佳音	明治大	1.59.85	
3	澤野 莉子	中央大	2.00.26	

女子400m自由形

順位	氏名	大学名	記録	備考
1	難波 実夢	近畿大	4.10.33	
2	長尾 佳音	明治大	4.13.79	
3	蝦名 愛梨	日体大	4.14.80	

女子800m自由形

nere co		1 22 4		
順位	氏名	大学名	記録	備考
1	難波 実夢	近畿大	8.32.96	
2	蝦名 愛梨	日体大	8.35.11	
3	梶本 一花	同志社大	8.38.51	

女子100m背泳ぎ

順位	氏名	大学名	記録	備考
1	秀野 由光	神奈川大	1.00.40	
2	竹葉 智子	中央大	1.01.19	
3	亀井 涼子	早稲田大	1.01.28	

男子200m背泳ぎ

順位	氏名	大学名	記録	備考
1	竹原 秀一	東洋大	1.57.39	
2	柳川 大樹	明治大	1.57.58	
3	西小野 皓大	中京大	1.58.04	
予選	高 大輔	関西学院	2.02.98	
予選	村田 李々冬	関西学院	2.11.73	

男子100m平泳ぎ

順位	氏名	大学名	記録	備考
1	谷口卓	中京大	59.72	
2	榎田 大己	鹿屋体育大	1.00.40	
3	今西 優太	近畿大	1.00.64	
予選	重塚 笙	関西学院	1.03.40	
予選	丸山 碧斗	関西学院	1.04.47	
予選	武本 航志	関西学院	1.05.32	

男子200m平泳ぎ

順位	氏名	大学名	記録	備考
1	廣島 偉来	明治大	2.09.40	
2	山尾 隼人	法政大	2.10.54	
3	榎田 大己	鹿屋体育大	2.10.63	
予選	重塚 笙	関西学院	2.15.39	
予選	森谷 郁海	関西学院	2.18.49	
予選	八木 大輝	関西学院	2.19.81	

男子100mバタフライ

順位	氏名	大学名	記録	備考
1	寺門 弦輝	日本大	51.65	
2	西田 拓郎	神奈川大	52.31	
3	内藤 大翔	中京大	52.5	
予選	好川 大雅	関西学院	54.8	
予選	杉井 郁哉	関西学院	54.87	
予選	永井 悠介	関西学院	56.75	

男子200mバタフライ

順位	氏名	大学名	記録	備考
1	本多 灯	日本大	1.53.76	大会新
2	寺門 弦輝	日本大	1.54.80	
3	丹保 陸	法政大	1.57.09	
予選	永井 悠介	関西学院	2.05.84	

男子200m個人メドレー

順位	氏名	大学名	記録	備考
1	小方 颯	日本大	1.57.49	
2	廣島 偉来	明治大	1.59.05	
3	牧野 航介	東洋大	1.59.51	
予選	田中 一路	関西学院	2.04.93	
予選	大平 理登	関西学院	2.06.38	

男子400m個人メドレー

順位	氏名	大学名	記録	備考
1	小方 颯	日本大	4.12.50	
2	本多 灯	日本大	4.12.58	
3	上川畑 英	明治大	4.14.36	
16	田中一路	関西学院	4.29.65	

女子200m背泳ぎ

順位	氏名	大学名	記録	備考
1	秀野 由光	神奈川大	2.11.37	
2	森田 眞心	法政大	2.12.88	
3	竹葉 智子	中京大	2.13.37	

女子100m平泳ぎ

順位	氏名	大学名	記録	備考
1	星 萌々花	日本大	1.08.06	
2	吉田 杏子	中京大	1.08.76	
3	岡田 侑奈	近畿大	1.08.79	

女子200m平泳ぎ

順位	氏名	大学名	記録	備考
1	石原 愛依	神奈川大	2.25.15	
2	黒部 和花	日本大	2.26.73	
3	松木 琴美	近畿大	2.27.18	

女子100mバタフライ

順位	氏名	大学名	記録	備考
1	廣下 菜月	中京大	57.69	大会新
2	野田 佑風	青山学院大	58.71	
3	長谷川 葉月	中央大	59.36	

女子200mバタフライ

順位	氏名	大学名	記録	備考
1	三井 愛梨	法政大	2.07.92	
2	水口 知保	明治大	2.08.91	
3	藤本 穏	同志社大	2.10.43	
予選	渡瀬 夢花里	関西学院	2.20.27	

女子200m個人メドレー

順位	氏名	大学名	記録	備考
1	松本 信歩	早稲田大	2.10.95	
2	石原 愛依	神奈川大	2.14.12	
3	杉山 樺音	神奈川大	2.14.38	
予選	濱田 莉子	関西学院	2.25.49	

女子400m個人メドレー

順位	氏名	大学名	記録	備考
1	梶本 一花	同志社大	4.40.02	
2	谷川 亜華葉	近畿大	4.40.29	
3	杉山 樺音	神奈川大	4.41.42	

男子4×100mフリーリレー

順位	大学名	氏名	記録	備考
1	早稲田大	須田・原・田中・長牛	3.16.53	学生新
2	日本大	本多・柳本・森本・小方	3.18.06	
3	明治大	餅田・成嶋・渡辺・五味	3.18.20	
予選	関西学院	三原・清水・高・久世	3.26.12	

男子4×200mフリーリレー

順位	大学名	氏名	記録	備考
1	日本大	本多・柳本・寺門・瀬良	7.12.81	
2	早稲田大	原・田中・長牛・新開	7.14.70	
3	近畿大	渡邊・木本・多鹿・黒川	7.17.22	
予選	関西学院	三原・杉井・清水・高	7.37.66	

男子4×100mメドレーリレー

順位	大学名	氏名	記録	備考
1	明治大	松山・小嶋・成嶋・五味	3.35.27	
2	日本大	伊藤・小方・本多・柳本	3.35.51	
3	中京大	西小野・谷口・内藤・宇野	3.35.69	
予選	関西学院	高・重塚・杉井・久世	3.44.87	

女子4×100mフリーリレー

順位	大学名	氏名	記録	備考
1	中央大	澤野・今野・長谷川・池本	3.40.93	
2	中京大	神野・廣下・藤本・宮脇	3.42.19	
3	早稲田大	船越・柴田・二宮・松本	3.43.55	
予選	関西学院	天野・濱田・山城・渡瀬	4.00.26	

	大学名	氏名	記録	備考
1	近畿大	吉井・谷川・梅木・難波	8.03.25	
2	早稲田大	松崎・松本・船越・小原	8.03.47	
3	中京大	神野・高桑・宮脇・神田	8.07.52	

女子4×100mメドレーリレー

順位	大学名	氏名	記録	備考
1	中京大	竹葉・吉田・廣下・神野	4.01.73	
2	中央大	今野・緒方・長谷川・池本	4.02.36	
3	近畿大	芝・岡田・星山・吉井	4.06.18	
予選	関西学院	山城・濱田・渡瀬・天野	4.24.87	

観戦記

村田 李々冬

この大会は、私にとって、大学での初めての全国大会であり、4年生の先輩方と泳ぐ最後の大会でした。 全国大会になると他の大会では味わえない緊張感を味わうことができ、圧倒されました。そのような緊 張の中、先輩方が応援や泳ぎでチームを鼓舞してくださいました。私個人は、自己ベストも出せず不甲斐 ない結果で終わってしまいました。この悔しさを忘れず、来年のこの大会でリベンジします。

〈水球パート〉

1. 関西学生選手権水球競技大会

開催日:6月 17日、18日、24日、25日

7月 1日、2日、8日

場所:京都大学、丸善インテック大阪プール

最終結果:5位(1部昇格)

第一試合 vs 大阪大学

関学	VS	阪大	得点者
3	1P	1	津田 4 辻本 2
3	2P	1	中元7 神田2 濱口2
6	3P	3	
5	4P	3	
17	合計	8	

第二試合 vs 京都大学

関学	VS	京大	得点者
1	1P	2	中元2 神田4
3	2P	1	和田2 濱口1 津田1
3	3P	2	
3	4P	2	
10	合計	7	

第三試合 vs 大阪国際大学

関学	VS	大国	得点者
	1 P		
	2 P		大阪国際大学の棄権により
	3 P		不戦勝
	4 P		
20	合計	0	

第四試合 vs 大阪産業大学

関学	VS	大産	得点者
3	1 P	3	中元6 小野2
3	2 P	0	武本1 濱口1 辻本1
2	3 P	1	津田1
4	4 P	4	
12	合計	8	

第五試合 vs 大阪公立大学

関学	VS	公立大	得点者
1	1 P	1	中元3 津田3
3	2 P	0	濱口3 神田2 和田1
5	3 P	3	
3	4 P	2	
12	合計	6	

第六試合 vs 立命館大学

関学	VS	立命館	得点者
1	1 P	1	中元2 辻本1
1	2 P	3	和田1 津田1
1	3 P	3	
2	4 P	3	
5	合計	10	

第七試合 vs びわこ成蹊スポーツ大学

関学	VS	びわこ	得点者
1	1 P	3	津田4 神田1
1	2 P	6	辻本1
2	3 P	2	
2	4 P	7	
6	合計	18	

第八試合 vs 神戸大学

関学	VS	神戸	得点者
0	1 P	3	中元1 神田2
2	2 P	1	津田 2
2	3 P	2	
1	4 P	1	
5	合計	7	

第九試合 vs 龍谷大学

関学	VS	龍谷	得点者
2	1 P	2	津田5 中元2
1	2 P	5	
1	3 P	4	
3	4 P	6	
7	合計	17	

観戦記

宮田 夢大

今年度は一部昇格し、神戸・立命館に点差をつけて勝利することを目標とし、初戦に挑んだ。初戦の対戦相手は大阪大学だった。第1ピリオドから得点を重ね、第3、4ピリオドでもペースは落ちることなく得点を重ね相手を突き放し、17-8で勝利した。勢いに乗り迎えた京都大学戦。第1ピリオド終了時で1点ビハインドという不安な立ち上がりであったが、その後は作戦通りに試合を進め得点を重ね、10-7と接戦をものにして勝利した。続く大阪産業大学戦。終始関学ペースで試合は進み、多くの選手が出場し12-8と勝利したが、後半になるにつれてパスミス、ボールキープミス等が相次ぎ第4ピリオドで4点差まで追い上げられてしまう反省点の多い試合であった。そして2部1位で迎えた大阪公立大学との入替戦。一部昇格のために何が何でも勝利したい一戦である。前日の反省点を大いに活かし、しっかり声を掛け合ってプレーした。序盤はロースコアの戦いであったが、後半にかけ得点を重ね、終わってみれば12-6で勝利を収め、目標であった一部昇格を果たした。

一部昇格し迎えた立命館大学戦。第 1 ピリオドを 1 失点で抑える上々の出だしであったが、退水セット等チャンスで攻め切ることができず、思うように得点が入らなかった。結果は 5-10 で敗北した。一部のレベルを感じて迎えたその日二試合目のびわこ成蹊スポーツ大学戦。午前中の試合とは打って変わって、点を取っては取られてまた取っての繰り返しであった。最終的には 10-18 で敗れてしまったものの二桁得点を挙げ、戦う姿勢というものを発揮できた。続く神戸大学戦。相手の確実性のあるプレーの前に初回 3 失点するスタートであったが第 2 ピリオド以降は点差が開かない両者譲らない展開で第 4 ピリ

オドまで均衡した状態が続いた。結果は5-7で敗れた。第1ピリオドの3失点が痛く、プレー面で多くの課題が残る試合となった。戦いの舞台を京都大学から大阪プールに移り迎えた今シーズン最終戦。相手は龍谷大学。また、唯一の4回生である米田舞雪 MG にとっても最後の試合であるため、チーム全体が気持ちを一つにして挑んだ。第1ピリオド終了時で2-2の接戦であったが、徐々に失点を許し、最後に意地をみせ得点したが、7-17で敗戦してしまった。

~4年間を振り返って~

有友 敬亮

4年間お世話になりました。

高校 3 年間は自己ベストが全く出ず、競い合える選手もおらず、楽しい思い出が全くなかったのにも関わらず、大学でも水泳を続けてくることができたのは、間違いなく一年先輩の平井元主将の存在があったからです。

最後は自己ベストで終えることができませんでしたが、何度も自己ベストを更新して数回嬉しい瞬間が 訪れただけでも、幸せだったなと思います。

これからは社会に出て水泳からは離れることになりますが、水泳で培った力を活かして、これからの社 会人人生を頑張っていきたいと思います。

4年間ありがとうございました。

初めて水泳部の見学をさせていただいた時に、私もマネージャーとしてこのチームに貢献したいと思い、すぐに入部を決めました。そして入部した水泳部では、想像を遥かに超えた楽しみと苦しみが待っていて、私の青春の全てを部活に捧げたと言っても過言ではないほど部活に打ち込んだ**4**年間でした。

同期のみんなよりも少し遅れて入部した私はなんとか追いつこうと毎日必死で練習に励みました。帰り道に同期にタイムを確認してもらったり、ダイブの笛のタイミングを教えてもらったり、水泳用語を教えてもらいながら毎日少しずつ練習を重ねました。少しずつ出来ることが増えサポートの幅が広がっていくことや、選手の方々がタイムをとってほしいと頼ってくれることでやりがいと楽しさを感じるようになりました。

練習しても目に見える形で結果が残らないため毎日の練習が嫌になることや、後輩指導や就活との両立など大変なこともありましたが、未熟な私を最後まで育ててくれた先輩方、可愛くて優秀な後輩たちがいたからこそ今の私がいます。サークルに入ることやアルバイトに明け暮れる日々ももちろん充実した日々になっていたと思いますが、部活に入るという私の決断は間違っていなかったと今4年間を振り返って感じます。

一生の思い出を一緒に作ってくれた同期、先輩や後輩、関西学院大学水上競技部に関わってくださった全ての皆さまにこの場をお借りして感謝申し上げます。ありがとうございました。

私たち 104 期生は、コロナによって、大学ではじめて練習を行ったのが9月からの代でした。そこからブランクなのか、はたまた私自身に問題があったのか、タイムが高校生の時のように伸びなくなってしまい、辛い時期を約1 年ほど経験しました。私よりも実力のある先輩方を見て、そこに食いついていきたいという気持ちで一生懸命取り組み、なんとか4年間、背泳ぎのレギュラーを勝ち取ることができました。しかし、全国に行けば、ただ予選を泳ぎに来ただけ、その悔しさを4年味わってしまいました。骨折したり、後輩と喧嘩したり、主将としても選手としても中途半端に終わってしまったというのが私の感想です。

しかし、KGUSTで出会えた人たちとの関わりは、自身の一生の財産であり、経験は今後、どのような 状況でも突き進んで行くための自信となりました。多くの人に支えられ、恵まれた 4 年間でした。あり がとうございました。 水上競技部では活動を通して、体育会ならではの結束や大学水泳独特の雰囲気の中での試合出場など、 多くを体感、経験をさせて頂きました。ここでは競技者としての振り返りと部内で活動を通じ、自らで感 じた水泳部の印象についてお伝えさせて頂きます。

競技者として、特にラストシーズン、大学水泳の中で一番、気概を持って水泳に打ち込めたシーズンでした。思い描くような結果は得られませんでしたが、短水路そして長水路では3年振りの自己ベストを更新する事ができ、パートリーダーの好川や有友には本当に感謝しています。コロナ禍で活動が中止されていた全体ドライやフィジカルチェックを再開できた事はトレーナー総括としては、とても嬉しく思っています。また、少しでもチーム力向上に繋がっていれば、幸いです。最後になりましたが、賛同して頂いたトレーナーの方々には心から感謝しています。

4年間の活動を通して感じた関西学院大学水上競技部の印象は、競技者としてだけでなく、人としても優れた選手が多く所属している事です。大学に入学する前からレベルの高い選手が多い事は承知していました。入部後は謙虚な選手がとても多い印象を受けました。謙虚だからこそ、現状に満足せず愚直に努力を続ける姿勢が指導者がいない中で結果を出す事に繋がっていると分かりました。私自身もそのような選手が多く所属する環境の中に身を置き、水泳に注力できた経験は必ず今後の人生の糧になると確信しています。

最後にこれまで水泳部の活動を支えて下さった北村監督、内藤監督、今村さん、トレーナーの方々、及び 関係者全ての方々に心よりお礼申し上げます。

加えて、アドバイスを頂いた先輩方や練習で煽ってくれた後輩、高め合えた同期との出会いに感謝します。

改めまして、4年間本当にお世話になりました。

今後の皆様のご活躍をお祈りさせて頂きます。

水泳を引退して、1週間以上経過していますが、私自身整理することが出来ていません。この文章を 書くことを、良い機会だと思い、少しずつ整理していきます。

もっと強い選手になれると思っていました。

大学に入学したころは、最後のインカレで決勝に残ることを目標にしていました。自分の中では、毎日精一杯練習に取り組んできたつもりでした。しかし、毎年自己ベストの更新は出来るものの、自分の理想とはかけ離れていました。そのギャップに苦しんだこともありました。

最終学年になってから、自己ベストを更新するどころか、自己ベストから大幅にタイムを落としてしまうことがあり、どうすればいいのか分からなくなった時もありました。しかし、6月に行われた岡山県選手権で自己ベストを大幅に更新することが出来ました。4年ぶりに有観客で県選手権が行われ、両親の前で好タイムは本当に嬉しかったです。最後のカンカレやインカレでも、この時のタイムを更新することが出来ず、「追い風が吹いてた」、「岡山のプールが少し短い」と言われたことが少し悔しいです。

また、水泳を引退して思い残していることは正直たくさんあります。もっと速くなるために出来たこと、副将としてチームのために他にするべきことがあったのではないかと。本当に多くのことを思い返しています。ただ、これらのことを含めて、水泳をして本当に良かったと思っています。これほど物事に対して真剣に取り組むことは、死ぬまでないと思います。

楽しい水泳に出会わせてくれて、長い間応援し続けてくれた両親には本当に感謝しかありません。また、両親を始めとして、コーチやチームメイト、先輩や後輩、多くの方のおかげで水泳を続け、最後までやり切ることが出来ました。本当にありがとうございました。

水泳部に在籍した 4 年間は、公私共に自分を成長させていただき、また何度も気持ちが救われた 4 年間でした。

私は、中学高校の頃、水泳部の部員は私しかおらず、学校から出る試合では顧問と2人でした。基本スクールでの練習でしたが、学校練習の際は、勿論のこと顧問と2人であり顧問がタイムを測ってくれる中、誰かと競い合うわけでもなく、ただ己との戦いでした。そのような環境で水泳人生を過ごしていた私にとって、この関西学院大学体育会水泳部の4年間で得た経験、例えば、先輩に対し敬語を使うことを初め、先輩から鬼の指導を受けることや私自身が後輩に指導すること、先輩や後輩と切磋琢磨しながら鍛錬することなど、何もかもが初めての経験であり、人に対しての自分の在り方を学ばさせてもらい、これらのような経験を経て大いに成長したと感じています。

また、この水泳部の場は、心の拠り所として先輩方や後輩達は水泳の面だけでなく私事の面での悩み 事や、経験談などを真剣に、あるいは爆笑して聞いてくれる。どこか心に余裕がない時、先輩方や後輩達 の笑いに何度も救われました。

この大学での競泳生活は、高橋優輝が競泳人生において最も自分に本気になれました。

普段あまり部活で後輩を持つことが無かった私にとって、水泳部の先輩方や後輩達は兄弟のようであり、この水泳部は私にとって家族です。

4年間ありがとうございました。

振り返ると 4 年間は一瞬で、それもおそらく部活に入っていたからこそ充実した日々を一瞬で送れたの だろうと感じています。

大学生活は週 6 の練習のために学校に通ったと言っても過言ではないものでした。大学に入っても水泳を続けられたこと、続けさせてくれたことを周りの環境に感謝したいです。

そもそも私は大学に入った時は、水泳から離れ、ヨット部に入部しようと考えていました。マイナーである点と、初心者なので1から成長できる点に魅了されたからです。

でも気づけば水泳部にいました。水泳しかないと思ったのでしょう。

入部の意思を告げたものの、今のレベルでは練習にさえついていけないことを重々理解していたので、 必死になってコロナ期間中にベースアップしたのを鮮明に覚えています。もしかしたら 4 年間で最もが むしゃらに、モチベーション高く水泳に打ち込めた期間だったのかもしれません。

その努力が報われたのが大学に入ってから1回目の尼崎での試合でした。100mでは1秒、200mでは3 秒の自己ベスト記録を更新しました。当時のコーチである今村さんや憧れである4回生の大谷洸さんに 直接お褒めのお言葉をいただいた時は非常に嬉しく、ますます自己肯定感が高まっていました。また当 時の元祖STはとても楽しく、練習からプライベートまで4年間で一番楽しい期間でした。

しかし、2回生の秋頃から徐々に成績が下がっていきました。原因は無駄で邪悪な「プライド」から来る、慢心と妥協です。水泳部で学んだことは、この「プライド」を捨てるということです。私は一般受験で入学したことから、水泳部では引け目を感じていました。だからこそその想いを払拭しようとがむしゃらに打ち込んで、なんとかレギュラーを獲得するまで至ったのですが、後輩に練習で負けた時に一度「あぁでもあいつはスポーツ推薦なんだから仕方ない」と思ってしまった時がありました。そこから「俺は一般、あいつはスポーツ推薦」といったプライドからの慢心と妥協が始まりました。その後は闘志のない死んだ魚のような目をしながら練習をするようになり、その気持ちの影響で泳ぎの調子さえも落ちていきました。

転機となったのは、1つ上の先輩である、木村さんでした。木村さん自身が語っていたので大丈夫だとは 思いますが、木村さんも2年、3年生時は水泳に本気で打ち込めていませんでした。当時の木村さんのイメージは Uber のカバンと2リットルのペットボトルを持ち歩く髭の先輩というイメージでしかありませんでした。しかし、人生の岐路である就活を順調に進め、そこから波に乗って水泳ではレギュラーを獲得するまで躍進した木村さんの姿に感化され、私自身もこのままでは何も得ることなく、大学生活を終えることになり、一生後悔するに違いないと感じたことから変わり始めました。

そこから就活と同時にトレセンであったり、練習前のドライをルーティンとして続け、変化を求めて行動を起こしました。どちらもすぐには結果として現れませんでしたが、最終的には納得のいく良い結果で終われたので、非常に幸せですし、変われてよかったと心から思えます。

私の最大の欠点は、とことん腐ってしまう点だと思います。自分に甘く、すぐ逃げる理由を探してしまいます。それに気づかせてくれた水泳、KGUSTには感謝しかありません。

もっと早くに気づいていれば、もっと良い人生を歩めていたかもしれませんが、この段階で知れている

ことが幸いです。

以上が 4 年間を振り返って、思うことです。本当に水泳を続けてきたからこそ自分と向き合えることができました。大学生活を充実させ、自分を形成させてくれた水泳に感謝です。 そして今後の KGUST に幸あれ。 毎年、偉大な先輩方の「4年間を振り返って」を拝読しては別れの寂しさと自分もかくありたいと感銘を受けていたことを思い出します。そんな自分がもう「書く」立場になったことに時の流れの早さを実感しています。拙い文章ではありますが、最後までお読みいただけますと幸いです。

私の大学 4 年間の競技人生を振り返ると、決して満足のいくものではありませんでした。特に 1 年目は中学・高校まで切磋琢磨していた同期がどんどんタイムを伸ばしていく中で、自分だけが伸び悩んでいる。そんな環境で 1 人だけ置いて行かれている気がして、かなり苦しい時期が続きました。そうなってしまった理由は単純明快で、私が常に受動的な人間だったからです。高校までは練習中に怠けていれば上から叱ってくれるコーチがおり、その存在に甘えすぎていたのだと思います。そんな選手が学生主体のチームで当然成長できるはずがなく、日頃の襤褸がそのまま試合に現れていました。加えて、精神的にも強い方ではなかったので結果に落ち込んでは練習に身が入らない、そんな悪循環の日々を過ごしていました。

そんな時に 1 人の先輩が声をかけて下さり、その時の言葉は今でも大切にしています。「辛い時こそ、シンプルな考えを持て。」この言葉は当時考えすぎていた私の肩の荷を下ろしてくれました。その先輩も過去に挫折を経験して私と同じようなマイナスな考えを持っていた時期があったと言います。だからこそ声をかけてくださったのでした。その言葉は私の考え方を変え、思い悩むことも少なくなりました。常にシンプルな考えを持つことで小さな目標でもコツコツ達成していくことが楽しくなって自然と能動的に行動ができるようになり、結果としてもプラスとなって現れました。またそれは同時に水泳の楽しさについて再認識することができた瞬間でした。今まで何も考えず受動的にしか行動できなかった人間が、能動的に行動できるきっかけを下さった先輩には感謝しかありません。

最後のシーズンを振り返ると、これまでの水泳人生で最も早く過ぎ去った 1 年でした。今思えば、それだけ充実した日々を送っていたのだと実感しています。競技面でも大学ベストで引退レースを締めくくることができ、大学生活で悩み、もがき続けたその過程が報われた気がしました。その過程の中には常に同期や先輩方、後輩など頼れる存在と共にありました。そんな関学水泳部の 1 部員として 4 年間過ごせたことは一生の誇りです。

長くなりましたが、ここまで素晴らしい環境で大学生活を過ごすことができたのは日頃より関学水泳部を支援してくださっているOB・OGの皆様、並びに関係者の皆様のおかげです。心より感謝申し上げます。そして水泳人生を通して関わってくださった全ての方々、本当にありがとうございました。

私はインカレへの出場が叶わなかったので、8月20日のプレインカレにて引退となりました。引退レースでは、自己ベストを更新して終わり、今の自分にとって最良の締めくくりができました。レース後、控え場所に戻ってきて、多くの後輩や同期から言葉をかけてもらった瞬間、達成感、安心感、名残惜しさなど多くの感情が溢れてきましたが、すべてを含めて大学4年生まで水泳を続けてよかったと思えました。

引退後は、今までの忙しさから一転、本当にすることがなく自堕落な生活を送ってしまっています。 現役時代は、毎日練習があり、「自分の時間が全然ない!」と嘆いていましたが、今ではその頃が懐か しく、幸せなことだったのだと感じています。また新しい目標を見つけて、自分を律せられるよう頑張 ります。

さて、ここで私の大学水泳4年間を振り返ろうと思います。

私は、競技面では優れた選手ではありませんでした。周りが全国大会で大きく活躍するような選手ばかりの中で、自分はそうではなく、この中にいて良いのかと思うことが何度もありました。特に入部当初はその思いが強く、多くの時間悩みましたが、自分のすべきことを明確にすることができてからは、真摯に部活へ向かい合うことができるようになりました。

自分のすべきこととは、よく周りを見て部のために行動することと、今自分にできることをコツコツ 積み重ねることです。前者は、競技力以外の部分で水泳部に貢献したいという思いから、多くの人の話 を聞き、中立の立場から問題の改善に取り組むことを心がけました。後者は、毎試合ごとに少しずつで もベストを更新できるよう、練習からコツコツと頑張っていきました。特に最後の1年は、これらの姿 を後輩たちに見せることができたと思っています。

「水泳の速さ」以外の面で、何か良い影響を与えられていればとてもうれしいです。

最後になりましたが、水上競技部へ多くの支援をしてくださっている OB の皆さん、私が1回生に頃から指導してくださった先輩方、こんな自分を慕ってくれた後輩たち、そして4年間一緒に頑張ってきた同期のみんなには、感謝の気持ちでいっぱいです。

ここで学んだことを生かし、また新しい場所で活躍できるよう、より一層努力していきます。 改めまして、本当にありがとうございました。 私はこの四年間、水泳部並びに大学生として、多くの事を学ぶ事が出来たと思います。

大学1回生では大学生になるという大きな期待と不安を持ちながら、入学した事を覚えています。しかし、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の中、大学での水泳が出来ない状態でした。大学での授業や部活動が全く分からないまま、春学期が過ぎていき、水泳における、モチベーションが下がっていくのを日々感じておりました。しかし、先輩方のご尽力のおかげもあり、徐々に水泳部としての活動が出来る様になり、水泳部の一員という感覚が芽生えた事を覚えております。又、練習の中では今村さんが指揮を務める、ロングパートに所属し、先輩方と切磋琢磨したことが印象に残っています。

この頃から、大会も一部介されていたと思われます。初めての日本学生選手権1年生ながら出場させて頂きました。成績は高校生の最高記録と並ぶタイムを出すことができ、自分の中では満足のいく結果となったと思っています。そして、なによりも会場で交わした今村さんとの握手は、今でも忘れられない程印象に残っています。

大学 2 回生では、初めての後輩が入学・入部され、先輩としての自覚と行動力が求められていたと思います。成績としては停滞している中で、自分の納得のいくレース展開を必死に実現しようとしていたことを覚えています。結果に納得のいかない自分に嫌気をさし、一時は水泳に対するモチベーションを保つことが、困難な時期もありましたが、2 度目の日本学生選手権大会では、1 年生と並ぶ結果を残し概ね満足のいく結果になったと思います。この頃から、自分の競技成績が伸びない事に対する、焦りが出てくる時期でもありました。

大学 3 回生では、初めて専門種目で自己記録を更新する事ができ、自分の中で非常に満足のいく年でした。先輩方の中でも堀先輩には多くの助言を頂き、自分なりに解釈する事によって、競技力の向上が図れたのではないかと思います。練習のやり方を変えることによって、新たな知見を得ながら練習に励み、日々の活動が楽しかった年でもありました。日本学生選手権では、あまり納得のいく記録ではありませんでしたが、年間を通しての練習等の活動の中で、多くの事を学ぶ年になったと思います。

大学4回生では、幹部学年として部員を率先して引っ張る大きな役割が有りました。MLパートのパートリーダーという大役を任され、日々他の選手の事を考え、悩むことが多くなりました。練習メニューを作成することの難しさ、チームをまとめる難しさ、様々な困難があったと思います。その困難を同期である藤原・三原が率先して協力して頂けたことによって、何とか乗り越えることが出来たのではないと思います。又、私一人では何もできなかったが、二人の協力があってこそ ML はチームとしてのまとまりを保ち、競技への熱量を上げるきっかけにもなっていたと思います。

二人には多くの負担を掛けたと思います。頼りないパートリーダーを支えて頂いたことに感謝しかありません。そんな仲間と練習する環境の中で、教育実習並びに教員採用試験が4回生終盤にありました。教員採用試験へ向けての勉強と部活動の練習、二つを両立させることが最後の最後に求められました。両立する事が難しい中で、引退する日が刻一刻と近づくに連れて、練習に対する熱量がより一層高まることを感じつつ、練習に励みました。そして、教育実習並びに教員採用試験を経て、最後の日本学生選手権では、成績としては競技人生の中でも悪いタイムでしたが、納得のいくレースが出来たのではないかと思います。

最後の1年間が最も長く困難な年だったこともあり、それを乗り切った自分を褒めるかのように、心から安心したことを覚えています。又、これまでパートリーダーとして指揮してきたこともあり、後輩からの感謝の気持ちは、非常に胸打たれるものが有りました。

こうして4年間を振り返ると、教員になるという軸を一切変えず、水泳と両立出来ていたのではないかと思います。そして、自分だけではなく、誰かのためになる水泳が確立できていたのではないかと思います。

こうした、4年間を過ごせたのは水泳部の仲間が居たからこそであり、同期並びに後輩には感謝の気持ちでいっぱいです。そして、ここまで私を支えて頂いた、家族にはこれからも感謝を伝えていきたいと思っております。

最後にはなりますが、水泳部に所属し様々な経験をさせて頂き、本当に有難う御座いました。

私にとってこの4年間は、これまでで1番自分自身と向き合った4年間でした。

入学当初に思い描いていた4年間とはかなり異なり、思うようにいかないことの方が多かったです。入部当初から新型コロナウイルスにより、練習できない日が続き、試合もほとんどありませんでした。そんな中で、想像もできないほど大変な思いをして動いてくださった監督や先輩方をはじめとする部員のおかげで、多くの活動ができるようになりました。多くの活動に参加することができているのは、自分の知らないところで本当に沢山の方たちが動いてくださっているからだと実感し、感謝の気持ちでいっぱいです。

4年間を振り返ると、楽しいことやいい思い出ばかりではなく、辛かったことや苦しかったことも沢山 思い出されます。そして、自分の弱い部分を知り、嫌になることも沢山ありました。何度も壁にぶつかり、 不安になり、苦しい思いをする度に、監督や同期をはじめとする多くの方たちに支えられ、助けていただ きました。特に同期の存在は大きく、うまく言語化できなかった私の思いを汲み取り、寄り添ってくれま した。そのおかげで、私は自分の弱さも受け止め、前を向くことができたと思います。

競技力の面では、当初の目標を達成することができず、結果で恩返しすることもできずに、悔しさと申し訳なさが残ってしまいました。ですが私は、水泳部という場所で多くの方と関わり、いろいろな経験ができたこと、4年間を過ごすことができたことをとても嬉しく思い、入部して良かったと感じています。本当にありがとうございました。

4年間を振り返って

三原 慶悟

水泳部での4年間はとにかく楽しかったです。それは、先輩、同期、後輩というチームメイトがいて、 KGUSTというチームがあったからこそだと改めて実感しています。本当に感謝しています。ありがとう ございました。 この4年間、大切な思い出を一緒に作ってくれた同期、そして先輩方や後輩にたくさんお世話になりました。本当にありがとうございました。KGUSTのおかげで、笑顔あふれる学生生活を送ることができたと感じています。

入学してすぐにコロナ感染が広まり、授業は全てオンラインになり、思い描いていたものとは違う学生生活が始まりました。海外の高校出身でもあったため知り合いがほとんどおらずとても不安だった頃に入部のお誘いを受け、人生初のマネージャーをすることになりました。水泳をほぼ知らないまま見学も出来ずに入部しましたが、優しい同期や素敵な先輩方に出会えたことを本当に嬉しく思っています。またその頃はコロナ禍による規制が厳しく、練習に行くことだけが唯一家族以外の人と接する時間であったため、毎日楽しくプールに通っていました。そして上回生になると人生初の後輩もでき、個性豊かなチームメンバーが加わり、たくさんの人に恵まれたと感じています。ラストシーズンには人生初の合宿やインカレにも参加でき、水泳部のおかげでたくさんの経験を得ることができました。

引退から約1ヶ月半が経ち、KGUSTのインスタグラムが流れてくるたびに少し恋しく感じます。毎日の練習や何度も帯同した試合などを思い返すと、大切な思い出ばかりです。これからもずっと KGUST を応援しています。本当にありがとうございました。

この4年間は私にとってとても色濃く、かけがえのない時間を過ごすことができました。

大学入学当初は水泳部には入らないと決めていたはずなのに高等部時代の同期に誘ってもらったことで 入部を決めました。選手を続けることができなくなってしまったときも先輩、同期の存在がなければマ ネージャーという新たな道を進むことはできていなかったと思います。どんな時でも話を聞いてくれる チームメイトに囲まれ、とても幸せな4年間を過ごすことができました。

たくさんの思い出の中でも最後の 1 年間、幹部のメンバーと共に主務としてチームマネジメントに関わらせてもらい、より良いチームを作りたいと試行錯誤を繰り返した経験は私の人生において大きな財産になったと思います。

毎日必死に努力している選手の姿を見て私がチームのためにできることは選手にとって何一つ不自由のない環境を整えること、チームの一体感をより強固なものにできるような環境作りだと、日々精進してきました。

今、引退してもうすぐ2ヶ月が過ぎようとしています。

思い返してみると日々の練習も、チームメイトのレースを全力で応援した試合も、どうしたらより良い チームになるのか幹部で頭を抱えながら何時間にもわたってミーティングをしたことも、大好きな部員 に囲まれながら当たり前のように過ぎ去っていた日々がもう返ってくることのないかけがえのない時間 だったのだと思います。

4 年間を通して一世一代の経験をたくさんさせていただき、大好きな仲間に出会うことができました。 KGUST に入部して本当によかったです。

最後になりましたが、我々が活動するにあたりこのページに書き切ることはできないほどたくさんの 方々からご支援、ご協力をいただきました。

この場をお借りして OBOG の皆様、弦泳会幹事の皆様、いつも熱心に活動に参加してくださり親身に相談に乗ってくださった北村監督、退任されてからも何かあるたびにお力添えくださった今村コーチ、いつもマネージャー日記をお読みいただいている方々、その他にも活動に関わってくださったすべての皆様に心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

4年間を振り返って、一番強く感じたのは関学水泳部に入部してよかったということです。私は高校まで自己中心的で、練習でも試合でも自分さえ良ければという考えを持っていました。しかし関学水泳部に入部し、その考えが大きく変わりました。私たちの学年が入学したのは、コロナウイルスによる1回目の緊急事態宣言が発出されたころで、入学してからしばらく部活動が停止していました。今考えると、その部活動ができていなかった状況が私のそれまでの考え方を大きく変えたのだと思います。今まで当たり前にできていた練習や、チームでの活動が貴重なものとなり、チームワークというものをとても大きな存在として感じるようになりました。中でもチームワークを最も意識したのは、一つ上の先輩方が引退し、私たちの学年が最高学年になったときでした。私は副将兼STパートのパートリーダーを務めました。どうすれば皆が良い結果を残せる練習を作成できるのかを試行錯誤しながら日々の練習を作成しました。試合でベストを出し、喜んでいるSTパートのメンバーの顔は今でも脳裏に焼き付いています。

私たちが 4 年生になった頃には、徐々にメガホンによる応援や声出し応援が解禁され、試合での活気が戻ってきました。久しぶりにチームメイトから声援を受けながら臨むレースにはとても感動し、奮い立ちました。また、チームメイトがレースに臨んでいるときは、自分自身が先頭に立って応援することもでき、チーム一丸となりチームメイトを応援できたことをうれしく思います。

幼かった私の精神を成長させてくれた関学水泳部、私が作成したメニューに文句を一言も言わず最後までやり遂げ、毎試合でベストを更新してくれた ST パートのメンバー、私のすべてを受け入れ、最後の関カレ・インカレまで全力で応援してくれた後輩・同期のみんなにはとても感謝しています。最後まで本当にありがとうございました。

4年間を改めて振り返ってみますと、感謝の気持ちでいっぱいです。

私の水球部生活はコロナ化に始まりました。元々高校で選手として水球をしていたため、関西を出て水球を続けることも考えましたが、自分の夢のためにその選択はやめ、今度はサポートする側として水球に携わろうと決めました。コロナ化で練習もなかったので一度も体験に行くこともなく、高校の先輩であった OG さんに直接連絡をとり即入部しました。他の部活、サークルを見なくてよかったのかなと思うこともありましたが、引退した今水球部に入部したことは間違っていなかったとはっきり言えます。

入部してからしばらくは練習も試合もなく、先輩方に直接会えない状況が続きました。やっと会えたと思ったらすぐに引退してしまい、選手3人マネ2人というチームを組めない人数にまで減ってしまいました。選手と1対1での練習も普通にあり、このまま廃部になるのではないかと正直不安でしたが、春に後輩がたくさん入ってきてくれ本当に嬉しかったです。しかし選手のモチベーションがない時期が続き、昨年は2部3位というとても低い結果を残してしまいました。それでも練習の質は上がらず、せっかく良いメンバーが集まっているのに勿体無いと他大学から言われることが多く、悔しい気持ちでいっぱいでした。ですが、監督方からの勧めでリーダー制を導入したことで、1人1人に責任感がうまれ練習の質も上がりました。そして迎えた学生リーグでは2部1位になり、入れ替え戦で勝利し6年ぶりに1部昇格を達成できました。こうした素晴らしい結果で引退できたのは、本当に後輩のみんなのおかげです。私は一緒に引退を作り上げていく同期がおらず、しかもマネージャーなので、結果は後輩たちに託すしかありませんでした。最後今できる1番良い形で送り出してくれたことに感謝しかありません。後輩みんなのおかげで、私は最後まで楽しく水球部で過ごすことができました。ありがとう。

4年間を通して、目標を見失わないことの大切さを学びました。1部昇格という目標を1年の頃から掲げてきましたが、最後までブレずにやり遂げることができました。結果、達成できましたが、もしできていなかったとしても何か得られていたと思います。社会人になっても目標を見失わず、努力を怠らない人間になります。

大変なことも、苦しいこともありましたが、心の底から関学水球で良かったと思えます。 最後になりましたが、4年間携わってくださった皆様ありがとうございました。

部員名鑑

現役部員の自己紹介です。各々の性格が現われていると思います。 お楽しみください。

- 名前
- ② 生年月日
- ③ 学部·学年
- ④ 出身校・出身スイミング
- ⑤ 競泳:専門種目、長水路のベストタイム

水球:ポジション

⑥ 一言

- ①有友敬亮
- ②2001年12月13日
- ③商学部 4 年
- ④関西学院高等部 イトマンスイミングスクール西宮校
- ⑤ 100m バタフライ 59.23
- ⑥大学 4 年間でいい思いができた瞬間が数回あっただけでも、幸せ者だったなと思います。4 年間ありがとうございました。
- ①尾﨑玲菜
- ②2001年8月26日
- ③社会学部4年
- ④富田林高校
- ⑤マネージャー
- ⑥楽しかったです。
- ①高大輔
- ②2001年6月24日
- ③経済学部4年
- ④私立関西学院高等部
- ⑤100m 背泳ぎ 56.31
- ⑥水泳ファンです。
- ①佐藤亮士
- ②2001年6月21日
- ③国際学部 4年
- ④須磨学園高等高校 NSI 本山スイミングスクール
- ⑤100m 平泳ぎ 1.05.59
- ⑥お世話になりました。

- ①杉井郁哉
- ②2001年8月9日
- ③文学部4年
- ④就実高校 OSK 岡山
- ⑤100mバタフライ 54.16
- ⑥楽しい水泳人生でした。ありがとうございました。
- ①高橋優輝
- ②2001年7月18日
- ③教育学部4年
- ④神戸大学付属中等教育学校 NSI 御影
- ⑤50m自由形 25.10
- ⑥水をかく毎に熱意を込めて泳いでます。
- ①武樋祥太郎
- ②2001年12月19日
- ③社会学部4年
- ④私立清風高等学校 ジェル北野田
- ⑤100m 平泳ぎ 1.05.30
- ⑥4年間お世話になりました。
- ①西垣祐輝
- ②2001年8月1日
- ③商学部4年
- ④雲雀丘学園高等学校 いずみ 21 川西イトマンスイミングスクール
- ⑤100m 背泳ぎ 59.95 200m 個人メドレー 2.10.33
- ⑥4年間ありがとうございました。

- ①藤原大彰
- ②2001年11月19日
- ③法学部4年
- ④関西学院高等部 コナミスポーツクラブ明石
- ⑤200m バタフライ 2.09.38
- ⑥すべて出し切れました。あとは趣味で泳ぎます。
- ①増田達哉
- ②2001年11月5日
- ③人間福祉学部4年
- ④兵庫県立淡路三原高等学校 NSI 南あわじスイミング
- ⑤200m 自由形 1.51.93 400m 自由形 3.58.53
- ⑥健康スポーツとして水泳をしていきます。
- ①三浦結依
- ②2002年1月28日
- ③教育学部4年
- ④帝塚山学院高等学校 JSS エビススイミングスクール
- ⑤100m バタフライ 1.09.47
- ⑥4年間ありがとうございました。
- ①三原慶悟
- ②2001年5月9日
- ③社会学部4年
- ④須磨学園高等学校
- ⑤50m 自由形 23.26 100m 自由形 51.03
- ⑥月牙天衝

- ①安田美波
- ②2001年3月1日
- ③経済学部4年
- 4 Eastlake High School
- ⑤マネージャー
- ⑥4 年間楽しかったです。ありがとうございました。
- ①山形紗陽香
- ②2001年9月20日
- ③教育学部4年
- ④関西学院高等部 JSS 宝塚
- ⑤マネージャー
- ⑥かけがえのない経験をさせていただきました。ありがとうございました。
- ①好川大雅
- ②2001年6月21日
- ③法学部4年
- ④関西大学第一高校 守口スイミングスクール
- ⑤100m バタフライ 54.02
- ⑥常に笑顔を意識しています
- ①天野百望
- ②2002年8月22日
- ③国際学部3年
- ④捜真女学校サギヌマスイミングクラブ鷺沼
- ⑤50m 自由形 26.54 100m 自由形 57.91
- ⑥ラストイヤー頑張ります

- ①池浦菜花
- ②2003年3月16日
- ③商学部3年
- ④ 関西学院千里国際高等学校
- ⑤マネージャー
- ⑥最後の一年、悔いのないマネージャー生活送り ます。
- ①大門慶悟
- ②2002年4月19日
- ③法学部 3年
- ④尼崎市立尼崎高等学校 尼崎スイミングスクール
- ⑤1500m 自由形 16.08.45 400m 自由形 4.06.55
- ⑥誰よりも水泳を楽しんで関学水泳部 1 笑って終わります。
- ①久世航大
- ②2002年12月24日
- ③経済学部3年
- ④桃山学院高等学校
- ⑤50m 自由形 23.16 100m 自由形 51.16
- ⑥水泳を楽しみます!
- ①佐野仁美
- ②2002年5月30日
- ③教育学部3年生
- ④大阪国際大和田高等学校 枚方スイミングスクール牧野
- ⑤100m 自由形 1:00.98 200m 自由形 2:10.70
- ⑥結果を残せるように頑張ります。

- ①田中一路
- ②2002年6月23日
- ③社会学部3年
- ④関西学院高等部 セントラル四條畷
- ⑤200m 個人メドレー 2.03.56 400m 個人メドレー 4.24.92
- ⑥チームのために頑張ります。
- ①田中駿真
- ②2002年6月28日
- ③商学部3年
- ④関西学院高等部 マックスポーツ武庫川
- ⑤50m 自由形 24.15 100m 自由形 53.37
- ⑥レギュラー取ります!
- ①長澤樹
- ②2002年4月25日
- ③社会学部3年
- ④豊川高校

山形ドルフィンクラブ

- ⑤50m 自由形 23.80 100m 自由形 52.60
- ⑥人生で一番頑張ります。
- ①橋本和佳
- ②2002年4月13日
- ③社会学部3年
- ④ 啓明学院高等学校
- ⑤マネージャー
- ⑥ラスト1年、真面目に楽しく取り組みます!

- ①濱享輔
- ②2002年4月12日
- ③人間福祉学部3年
- ④和歌山県立桐蔭高等学校 パルポートワカヤマ
- ⑤100m バタフライ 57.08 200m バタフライ 2.07.97
- ⑥チームのために頑張ります。
- ①濵田莉子
- ②2002年10月21日
- ③人間福祉学部3年
- ④帝塚山学院高等学校 菊水スイミングスクール
- ⑤200m 個人メドレー 2.23.45 200m 背泳ぎ 2.22.44
- ⑥悔いが残らぬよう全力でやり切ります。
- ①毛利雪乃
- ②2003年3月16日
- ③社会学部3年
- ④ 啓明学院高等学校
- ⑤マネージャー
- ⑥最後まで笑顔で頑張ります!
- ①八木大輝
- ②2002年10月5日
- ③経済学部3年
- ④関西学院高等部 塚口スイミングスクール
- ⑤100m 平泳ぎ 1.04.99 200m 平泳ぎ 2.19.34
- ⑥ST パート全員がベスト出せるように練習作り ます!

- ①山田晃誠
- ②2002年7月23日
- ③商学部 3年
- ④武蔵野高等学校 ロンド東村山
- ⑤200m 自由形 1.53.75 400m 自由形 4.00.22
- ⑥笑って終わります。
- ①赤木彩羽
- ②2003年5月27日
- ③法学部2年
- ④豊中高校
- ⑤マネージャー
- ⑥信頼や安心感を持ってもらえるサポートができ るよう頑張ります。
- ①伊藤寛記
- ②2003年6月22日
- ③人間福祉学部2年
- ④関西学院高等部 NSI 神鉄スイミングスクール
- ⑤100m 自由形 53.22 200m 自由形 1.59.05
- ⑥何事にも根気強く取り組み、成長していけるよう頑張ります。
- ①大平理登
- ②2003年7月20日
- ③法学部2年
- ④須磨学園高等学校 JSS 北神戸スイミングスクール
- ⑤200m 個人メドレー 2.04.55
- ⑥チームに貢献します。

- ①小野寺愛優
- ②2003年11月19日
- ③国際学部2年
- ④葺合高等学校
- ⑤マネージャー
- ⑥選手をよく観察し、自ら率先してサポートできるマネージャーを目指すよう頑張ります。
- ①垣内柊人
- ②20012 月 29 日
- ③商学部2年
- ④関西学院高等部 パシオ福島
- ⑤100m 自由形 53.06 200m 自由形 1.56.84
- ⑥自分に厳しく努力を続け、チームに貢献できる よう頑張ります。
- ①小嶋虹佑
- ②2003年9月21日
- ③経済学部2年
- ④名古屋高等学校 BIG 東海
- ④50m自由形 24.37
- ⑤結果出します。
- ①重塚笙
- ②2003年7月24日
- ③商学部2年
- ④報徳学園高校 コナミ西宮
- ⑤100m平泳ぎ 1.03.10200m 平泳ぎ 2.14.96
- ⑥チームに貢献できる選手になります。

- ①清水歩空
- ②2003年12月23日
- ③社会学部2年
- ④報徳学園高校 コナミ西宮
- ⑤100m自由形 51.40 200m自由形 1.52.07
- ⑥自由形のエースになります。
- ①永井悠介
- ②2003年11月23日
- ③国際学部2年
- ④洛南高等学校・セントラル太秦
- ⑤100mバタフライ 53.87 200mバタフライ 2.00.44
- ⑥この1年間ベストを更新できていないので、自 分を律し、ベスト更新に向けて精進します。
- ①安田想桜
- ②2004年3月4日
- ③人間福祉学部2年
- ④夢野台高等学校
- ⑤マネージャー
- ⑥選手がどのようなサポートを必要としているの か日々考え、行動します。
- ①山城夢芽
- ②2003年12月12日
- ③経済学部2年
- ④星林高等学校 パルポートワカヤマ
- ⑤100m 背泳ぎ 1.07.60 200m 背泳ぎ 2.24.79
- ⑥チームに貢献できるよう、全力を尽くします。

- ①湯田平航樹
- ②2003年10月13日
- ③商学部2年
- ④福岡県立京都高等学校 KSG ときわ曽根
- ⑤マネージャー
- ⑥よりよいマネジメントとは何か常に考え、実現 できるよう頑張ります。
- ①渡瀬夢花里
- ②2003年6月26日
- ③教育学部2年
- ④関西学院高等部 尼崎市スポーツ振興事業団
- ⑤100m バタフライ 1.02.45 200m バタフライ 2.15.92
- ⑥ベストを更新し、チームに貢献できるように自 分に厳しく頑張ります。
- ①景山一華
- ②2005年3月27日
- ③商学部1年
- ④丸亀高校
- ⑤マネージャー
- ⑥少しでもチームの力になれるよう頑張ります。
- ①図子すみれ
- ②2004年4月21日
- ③人間福祉学部1年
- ④N 高校
- ⑤マネージャー
- ⑥選手に良い環境を与えられるよう頑張ります。

- ①滝澤優菜
- ②2004年9月7日
- ③教育学部1年
- ④ 関西学院高等部
- ⑤マネージャー
- ⑥チームに必要とされるマネージャーになれるよう努力します。
- ①武本航志
- ②2004年11月14日
- ③商学部1年
- ④関西学院高等部 マックスポーツ加古川
- ⑤100m 平泳ぎ 1.04.86
- ⑥結果、タイムにこだわっていきます。
- ①津田悠生
- ②2004年12月20日
- ③人間福祉学部1年
- ④淡路三原高等学校 NSI 南あわじスイミングスクール
- ⑤200m 自由形 1.58.21
- ⑥早くインカレ切れるくらいはやくなります。
- ①中西孝太
- ②2004年5月3日
- ③経済学部1年
- ④登美丘高等学校 マックスポーツ堺一条
- ⑤50m 平泳ぎ 29.96
- ⑥ベストを更新し立派な選手になれるように練習 します。

- ①中谷志優
- ②2004年10月18日
- ③社会学部1年
- ④桐光学園高等学校サギヌマスイミングクラブ鷺沼
- ⑤100m 自由形 52.00
- ⑥チームに貢献できるよう精一杯頑張ります。
- ①丸山碧斗
- ②2004年7月30日
- ③法学部1年
- ④桃山学院高等学校 NSI Taiken スイミングスクール
- ⑤100m 平泳ぎ 1.04.19
- ⑥チームに貢献できる強い選手になります。
- ①村田李々冬
- ②2004年12月15日
- ③商学部1年
- ④豊川高等学校 奄美スイミングスクール
- ⑤200m 背泳ぎ 2.07.34
- ⑥明日やろうはバカやろう
- ①森谷郁海
- ②2005年1月14日
- ③国際学部1年
- ④洛南高等学校 NSI マナティースイミングスクール
- ⑤200m 平泳ぎ 2.17.56
- ⑥チームに貢献できる選手を目指します。

- ①米田舞雪
- ②2002年2月19日
- ③教育学部4年
- ④兵庫県立尼崎北高校
- ⑤マネージャー
- ⑥充実した4年間ありがとうございました。
- ①上中 静季
- ②2003年2月18日
- ③教育学部3年
- ④広島女学院高等学校
- ⑤マネージャー
- ⑥選手のサポートに努めます
- ①大塚宙
- ②2002年10月23日
- ③国際学部3年
- ④須磨学園高等学校
- ⑤ドライバー
- ⑥泳ぎで全員を抜き去ります
- ①小野孟司
- ②2002年12月30日
- ③文学部3年
- ④兵庫県立宝塚西高等学校
- ⑤ドライバー
- **6**Vamos!

- ①上瀬結希
- ②2002年10月16日
- ③社会学部3年
- ④愛媛県立松山東高等学校
- ⑤マネージャー
- ⑥広報担当として選手のサポートを全力で行って いきます。
- ①神田大和
- ②2003年2月28日
- ③法学部3年
- ④兵庫県立尼崎北高等学校
- ⑤水球 フローター
- ⑥ラストイヤーやり抜きます
- ①竹中柊
- ②2002年12月27日
- ③法学部3年
- ④兵庫県立尼崎北高等学校
- (5)GK
- ⑥楽しみます
- ①武本優志
- ②2002年5月15日
- ③経済学部3年
- ④加古川西高校 マック加古川
- ⑤ドライバー
- ⑥強くなります!!

- ①戸原日向子
- ②2002年8月25日
- ③商学部 3年
- ④佐賀商業高校
- ⑤マネージャー
- ⑥選手が全力で水球に取り組めるように、サポートします!
- ①中元洸佑
- ②2002年11月19日
- ③経済学部3年
- ④京都府立乙訓高等学校
- ⑤左サイド ドライバー
- ⑥日々反省、日々成長を心に留めて頑張ります。
- ①濱口陽
- ②2002年8月10日
- ③経済学部3年
- ④滝川高校
- ⑤ドライバー
- ⑥今チームええ感じやねん
- ①田中楓史郎
- ②2003年4月2日
- ③経済学部2年
- ④熊本県私立九州学院高等学校
- ⑤ゴールキーパー
- ⑥守護神になれるよう頑張ります!

- ①辻本匠
- ②2003年8月7日
- ③総合政策学部2年
- ④和歌山県立向陽高等学校
- ⑤ドライバー
- ⑥1 部でいい結果を残せるように頑張ります!

- ①山上真雄
- ②2003年12月12日
- ③教育学部2年
- ④清風高校
- ⑤ドライバー
- ⑥関学水球部の皆に追い付き貢献出来る様、精一 杯頑張ります!

- ①津田風音
- ②2004年7月26日
- ③経済学部1年
- ④追手門学院高等学校
- ⑤フローターバック
- ⑥楽しむ気持ちを忘れず頑張ります。

- ①和田涼一郎
- ②2003年9月14日
- ③滝川高校
- ④工学部2年
- ⑤ドライバー
- ⑥勝利に向けて頑張ります!

- ①町井佑衣
- ②2003年10月7日
- ③教育学部2年
- ④和歌山県立向陽高等学校
- ⑤マネージャー
- ⑥選手が全力で水球できるように、サポートを精
- 一杯頑張ります。

- ①荒木優吾
- ②2004年7月14日
- ③文学部1年
- ④帝塚山学院泉ヶ丘
- ⑤ドライバー
- ⑥精一杯頑張ります

- ①村上晴飛
- ②2003年8月22日
- ③社会学部2年
- ④筑紫高校
- ⑤ドライバー
- **6)NOBLE STUBBORNNESS**

- ①石田明日花
- ②2004年11月11日
- ③法学部1年
- ④ 啓明学院高等学校
- ⑤マネージャー
- ⑥水球に集中できる環境を作ります。

- ①瓜野真悠
- ②2004年11月9日
- ③文学部1年
- ④関西学院高等部
- ⑤マネージャー
- ⑥選手のサポートを積極的にできるよう頑張ります。
- ①黒田賢信
- ②2005年3月5日
- ③商学部1年
- ④学院千里国際高校
- ⑤ドライブ
- ⑥愛のこもったパスを提供します
- ①鈴木創太
- ②2004年9月24日
- ③経済学部1年
- ④ 啓明学院高等学校
- ⑤ドライバー
- ⑥上手くなります!!
- ①宮田夢大
- ② 2004年4月26日
- ③ 文学部1年
- ④ 東北学院高等学校・ピュアスポーツ多賀城スイミング
- ⑤ ドライバー
- ⑥スピードと体力を活かして戦います

水上競技部会計報告

期間: 2022年10月1日~2023年9月30日

(単位:円)

支出の部		収入の部	
登録・エントリー代	1,901,365	前年度繰越金	2,249,616
遠征・合宿費	5,999,840	部費収入	2,010,000
消耗品費	1,977,991	登録・エントリー代現役負担金収入	1,494,300
備品購入費	742,690	その他現役負担金収入	5,306,265
施設利用料	209,120	大学援助金収入	1,265,310
旅費交通費	225,813	受取利息	9
通信費・運送費	117,889	アルバイト収入	158,040
印刷製本費	81,832	寄付収入	0
保険料	98,360		
雑費	159,130		
翌年度繰越金	969,510		
支出 計	12,483,540	収入 計	12,483,540

※消耗品費にはジャージや T シャツ等の現役自己負担分が含まれます。

※大学援助金にはスポーツ活動支援募金の取崩しは含まれていません。

学校法人関西学院が管理しているスポーツ活動支援募金(水上競技部専用。弦泳会費等の溜まり分)の残 高は、次年度以降に順次執行していく予定です。

歴代十傑表(2023年9月現在)

【男子】

●50M自由

1.	森下 翔太	22"86	R. 3	関西学生
2.	森 元秀	23"04	H. 25	日本学生
3.	平松 聖隆	23"12	H. 31	関西学生
4.	久世 航大	23"16	R. 5	日本学生
5.	原 嘉一	23"24	H. 29	関西学生
6.	三原 慶悟	23"26	R. 4	兵庫県選手権
7.	樋口 拓夢	23"27	H. 26	日本学生
8.	崎久保 拓洋	23"32	H. 25	関西学生
9.	桑本 貴隆	23"50	H. 21	関西学生
10.	齊藤 大己	23"50	H. 29	日本学生

●100M自由形

1.	森下 翔太	49"93	R. 3	兵庫県選手権
2.	平松 聖隆	49"96	H. 31	岡山県選手権
3.	樋口 拓夢	50"66	H. 25	関西学生
4.	中村 豊	50"73	H. 24	関西学生
5.	堀 敬貴	50"91	R. 4	関西学生
6.	三原 慶悟	51"03	R. 5	兵庫県選手権
7.	久世 航大	51"16	R. 5	日本学生
8.	崎久保 拓洋	51"37	H. 26	日本学生
9.	高 大輔	51"39	R. 4	兵庫県長水路
10.	森 元秀	51"40	H. 25	関西学生

●200M自由形

1.	森下 翔太	1 '51"02	H. 31	関西学生
2.	中村 豊	1 '51"76	H. 24	関西学生
3.	増田 達哉	1 '51"93	R. 4	関西学生 CS
4.	長谷川 大輔	1 '52"24	H. 28	日本学生
5.	清水 歩空	1 '52"33	R. 4	関西学生 CS
6.	平松 聖隆	1 '52"43	H. 31	岡山県選手権
7.	前家 空	1 '52"77	H. 26	関西学生
8.	西桶 正倫	1 '52"84	H. 27	関西学生
9.	原 嘉一	1 '52"99	H. 29	兵庫県長水路
10.	河村 拓実	1 '53"03	H. 21	関西学生

●400M自由形

- H. 26 ジャパンオープン 1. 森芳 慎平 3'55"67
- 2. 長谷川 大輔 3'57"57 H. 28 日本学生
- H. 26 関西学生 3. 北山 拓人 3'58"01
- 4. 佐野 武 H. 27 兵庫県長水路 3'58"29
- 増田 達哉 R. 4 兵庫県選手権 5. 3'59"46
- 6. 中村 豊 3'59"66 H. 21 関西学生
- 7. 原 嘉一 4'00"10 H. 27 京都府選手権
- 8. H. 31 関西学生 森下 翔太 4'00"90
- 9. 山田 晃誠 R. 5 関西学生 CS 4'01"56
- 鵜飼 夏也人 H. 26 兵庫県選手権 10. 4'02"38

●1500M自由形

- 1. H. 26 日本学生 森芳 慎平 15'24"47
- 2. 佐野 武 15'27"39 H. 27 関西学生
- 3. 北山 拓人 H. 26 日本学生 15'44"38
- 4. 長谷川 大輔 H. 26 関西プレインカレ 15'51"08
- 5. 原 嘉一 H. 27 関西プレインカレ 15'55"40
- 6. 中村 豊 16'07"44 H. 21 兵庫県選手権
- 岡村 翼 H. 29 神戸市民 7. 16'11"31
- 8. 加藤 拓也 16'19"82 H. 23 関西学生
- 関西学生 9. 大門 慶悟 16'21"55 R. 5
- 10. 小林 薫平 16'22"26 H. 30 関西学生

●100M平泳ぎ

- 1. 平井 佑典 1 '01" 05 R. 4 関西学生
- H. 27 関西学生 2. 和田 真哉 1 '02"71
- 3. 瀬角 健太 1 '02" 76 H. 27 日本学生
- H. 21 関西学生 4. 和佐田 勝久 1 '02"87
- 重塚 笙 R. 5 5. 1 '03"10 関西学生
- 6. 大谷 洸 1 '03"16 H. 31 関西学生 CS
- H. 25 関西学生 CS 7. 出井 義也 1 '03"64
- 木本 聡
- H. 15 日本学生 8. 1 '03"80
- H. 29 9. 原田 明日翔 1 '04" 01 関西学生
- R. 4 10. 木村 拓真 1 '04" 14 関西学生

●200M平泳ぎ

- 1. 和佐田 勝久 2'14"45 H. 21 関西学生
- 2. 重塚 笙 2'14"96 R. 5 関西学生
- 3. 平井 佑典 2'16"40 R. 4 関西学生
- 大谷 洸 H. 30 関西学生 CS 4. 2'16"49
- 瀬角 健太 H. 28 日本選手権 5. 2'16"63
- 6. 平谷 源 2'18"01 H. 21 関西学生
- 7. 田中 優一 2'18"33 H. 31 日本学生
- 7. 森谷 郁海 R. 2'18"33 5 関西学生
- 8. 齋藤 迅 2'18"45 R. 1 関西学生 CS
- 9. 中嶋 康介 2'18"94 H. 28 関西学生 CS
- 10. 稲垣 和磨 2'19"00 H. 25 関西学生

●100M背泳ぎ

- 1. 塩川 裕也 55'77 R. 3 日本学生
- 2. 高 大輔 56"31 R. 5 関西学生
- 3. 三坂 一真 56"48 H. 30 日本学生
- 4. 立花 槙次郎 H. 25 日本学生 56"91
- H. 21 関西学生 5. 今別府 俊成 57"12
- H. 21 関西学生 6. 多田 匠吾 57"15
- 7. 佐多 直浩 57"18 H. 30 関西学生
- 8. 福本 勝太 57"21 R. 3 関西学生春季室内選手権
- 9. 林 隆太郎 H. 13 日本学生 57"29
- 10. 井上 裕介 57"69 H. 27 日本学生

●200M背泳ぎ

6.

今別府 俊成

- 1. 塩川 裕也 2'00"53 R. 3 日本学生
- 2. 立花 槙次郎 H. 27 2 '01"17 日本選手権
- 3. 高 大輔 2 '02"57 R. 5 関西学生 CS
- 4. 藤田 紘希 2 '02"85 R. 3 日本学生
- 5. 多田 匠吾 2 '03"89 H. 21 関西学生
- H. 24 関西学生 2 '05" 54
- 7. 田島 初 H. 23 兵庫県長水路 2 '05"87
- 8. 三坂 一真 2'06"12 H. 31 日本選手権
- 9. 林 隆太郎 2 '06" 19 H. 12 日本選手権
- 10. 縄田 岳 2'06"61 H. 23 日本学生

●100Mバタフライ

1	永井	攸介	53"87	R	4	京都府選手権

- 2. 竹下 祥平 53"98 H. 25 日本学生
- 3. 好川 大雅 54"02 R. 4 関西学生 CS
- 4. 杉井 郁哉 54"16 R. 5 岡山県選手権
- 5. 森下 翔太 54"28 R. 3 関西学生春季
- 6. 河村 拓実 54"44 H. 21 日本学生
- 7. 甲谷 直希 54"67 H. 30 関西学生
- 8. 那須野 諭 54"69 H. 21 日本選手権
- 9. 植田 竜成 54"72 R. 4 兵庫県夏季公式
- 10. 岩山 昂生 54"96 H. 30 関西学生夏季

●200Mバタフライ

- 1. 永井 悠介 2'00"44 R. 4 京都府選手権
- 2. 森芳 慎平 2'00"69 H. 26 ジャパンオープン
- 3. 河村 拓実 2'01"82 H. 21 日本選手権
- 4. 那須野 諭 2'02"30 H. 21 関西学生
- 5. 鵜飼 夏也人 2'02"41 H. 26 日本学生
- 6. 三辻 大四郎 2'02"45 H. 16 関西学生
- 7. 岡村 翼 2'02"53 H. 30 関西学生
- 8. 竹下 祥平 2'02"82 H. 25 日本学生
- 9. 出井 義也 2'02"84 H. 25 関西学生
- 10. 植田 竜成 2'02"89 R. 4 関西学生

●200M個人メドレー

- 1. 出井 義也 2'03"56 H. 25 日本学生
- 2. 田中 一路 2'03"59 R. 5 関西学生 CS
- 3. 原 嘉一 2'04"39 H. 29 日本学生
- 4. 山本 一貴 2'05"20 H. 27 関西学生
- 5. 服部 季輝 2'05"52 H. 29 日本学生
- 6. 前田 奨 2'05"68 H. 27 関西学生
- 7. 前家 空 2'05"76 H. 26 関西学生 CS
- 8. 大平 理登 2'06"38 R. 5 日本学生
- 9. 鵜飼 建吾 2'06"76 H. 21 日本学生
- 10. 大谷 雄剛 2'06"82 R. 4 関西学生 CS

●400M個人メドレー

_				_	_	
1.	田中	一路	4 '24"92	R.	4	ジャパンオープン
2.	森芳	慎平	4 '26"99	Н.	25	大阪府選手権
3.	鵜飼	夏也人	4 '28"11	Н.	28	日本学生
4.	前田	奨	4 '28"78	Н.	27	日本学生
5.	鵜飼	建吾	4 '29"52	Н.	21	関西学生
6.	山本	一貴	4 '29"78	Н.	27	関西学生
7.	前家	空	4 '30"93	Н.	24	関西学生
8.	大谷	雄剛	4 '32"65	R.	4	関西学生 CS
9.	小野	優	4 '32"99	Н.	25	関西学生 CS
10.	坂上	一真	4 '34"25	Н.	17	関西学生

●400Mメドレーリレー

1.	塩川裕也・平井佑典・好川大雅・森下翔太	3 '40"48	R.	3日本学生
2.	塩川裕也・平井佑典・大川航輝・平松聖隆	3 '42"27	R.	2日本学生
3.	高大輔・平井佑典・永井悠介・堀敬貴	3 '42"47	R.	4日本学生
4.	高大輔・平井佑典・好川大雅・三原慶悟	3 '43"09	R.	4 関西学生 CS
5.	三坂一真・大谷洸・大川航輝・平松聖隆	3 '43"95	Н.	31関西学生
6.	立花槙次郎・和田真哉・竹下祥平・樋口拓夢	3 '44"74	Н.	25 日本学生
7.	立花槙次郎・瀬角健太・橘知毅・齊藤大己	3 '44"86	Н.	28 日本学生
8.	立花槙次郎・和田真哉・甲谷直希・齊藤大己	3 '44"87	Н.	27 関西学生
8.	高大輔・重塚笙・杉井郁哉・久世航大	3 '44"87	R.	5日本学生
9.	井上裕介・瀬角健太・甲谷直希・崎久保拓洋	3 '45"16	Н.	27 日本学生
10.	三坂一真・大谷洸・甲谷直希・平松聖隆	3 '45"16	Н.	30 関西学生

●400Mフリーリレー

1.	三原慶悟・勝見駿佑・久世航大・森下翔太	3 '22"82	R.	3	関西学生
2.	平松聖隆・佐多直浩・寺田弘剛・森下翔太	3 '23"16	Η.	31	日本学生
3.	平松聖隆・佐多直浩・三原慶悟・森下翔太	3 '23"36	R.	2	日本学生
4.	清水歩空・堀敬貴・三原慶悟・久世航大	3 '24"33	R.	4	関西学生
5.	西桶正倫・崎久保拓洋・樋口拓夢・森元秀	3 '24"35	Н.	26	日本学生
6.	平松聖隆・三坂一真・森下翔太・寺田弘剛	3 '24"57	Η.	31	関西学生 CS
7.	樋口拓夢・文野知弥・崎久保拓洋・中村豊	3 '24"74	Η.	24	日本学生
8.	森元秀・西桶正倫・崎久保拓洋・樋口拓夢	3 '24"75	Η.	26	関西学生
9.	崎久保拓洋・齊藤大己・山本一貴・西桶正倫	3 '24"80	Η.	27	関西学生
10.	三原慶悟・久世航大・清水歩空・高大輔	3 '24"95	R.	5	関西学生 CS

●800Mフリーリレー

1.	増田達哉・三原慶悟・森下翔太・高大輔	7 '30"90	R.	3 関西学生
2.	増田達哉・清水歩空・堀敬貴・高大輔	7 '31"02	R.	4 日本学生
3.	森下翔太・平松聖隆・冨田圭人・寺田弘剛	7 '31"23	Н.	31 関西学生
4.	増田達哉・清水歩空・三原慶悟・高大輔	7 '31"77	R.	4 関西学生
5.	森下翔太・平松聖隆・小林薫平・寺田弘剛	7 '31"92	Н.	31 関西学生 CS
6.	前家空・森芳慎平・北山拓人・長谷川大輔	7 '32"21	Н.	26 関西学生
7.	長谷川大輔・原嘉一・西村祐輝・寺田弘剛	7 '32"43	Н.	28 日本学生
8.	平松聖隆・冨田圭人・寺田弘剛・原嘉一	7 '32"69	Н.	29 日本学生
9.	北山拓人・原嘉一・長谷川大輔・西桶正倫	7 '32"76	Н.	27 日本学生
1.0	前家空・森芳恒平・北山拓人・西桶正倫	7 '32"87	Н	26 日本学生

【女子】

●50M自由形

1.	遠藤	奈々	26"25	H. 23	日本学生
2.	山本	麻利	26"28	H. 24	関西学生
3.	小林	真衣	26"50	H. 19	日本学生
4.	天野	百望	26"56	R. 3	関西学生 CS
5.	平原	雪子	27"08	H. 23	神戸市民
6.	坂本	奈緒子	27"45	H. 13	関西学生
7.	丑本	加子	27"88	H. 27	日本学生
8.	濱田	莉子	27"95	R. 4	大阪府選
9.	竹林	理子	27"96	H. 30	京都府選
10.	田中	清香	27"97	H. 13	関西学生

●100M自由开	眵				
1.	山本	麻利	57"46	H. 24	関西学生
2.	小林	真衣	57"83	H. 19	日本学生
3.	天野	百望	57"91	R. 4	日本学生
4.	遠藤	奈々	58"23	H. 23	日本学生
5.	平原	雪子	58"82	H. 22	神戸市民
6.	石垣	友美	59"67	H. 15	関西学生
7.	木村	友紀	59"97	H. 23	神戸市民
8.	山本	紗希	1 '00"05	H. 30	日本学生
9	小林	広果	1 '00"20	H. 22	兵庫学生
1 0	. 柴崎	愛子	1 '00"44	H. 19	コナミオープ

●200M自由形

- 1. 柴崎 愛子 2'06"10 H. 19 コナミオープン
- 2. 石垣 友美 2'06"12 H. 14 日本選手権
- 3. 竹林 理子 2'06"26 H. 30 関西学生
- 4. 坂上 智美 2'06"67 H. 19 日本学生
- 5. 山本 麻利 2'06"87 H. 24 関西学生
- 6. 木村 友紀 2'07"62 H. 21 日本学生
- 8. 小林 広果 2'08"99 H. 23 神戸市民
- 9. 長井 もも香 2'09"22 H. 29 関西プレインカレ
- 10. 山本 紗希 2'09"60 H. 27 関西学生CS

●400M自由形

- 1. 柴崎 愛子 4'20"02 H. 18 日本選手権
- 2. 石垣 友美 4'25"89 H. 14 日本学生
- 3. 坂上 智美 4'26"90 H. 19 日本学生
- 4. 木村 友紀 4'27"85 H. 22 神戸市民
- 5. 竹林 理子 4'28"94 H. 30 関西学生
- 6. 長井 もも香 4'28"96 H. 26 日本学生
- 7. 河津 なつみ 4'38"15 H. 21 兵庫学生
- 9. 溝淵 真由 4'46"08 R. 3 関西学生
- 10. 藤原 絵美 4'46"42 H. 16 関西学生

●800M 自由形

- 1. 柴崎 愛子 9'02"49 H. 18 関西学生
- 2. 長井 もも香 9'09"83 H. 27 関西学生
- 3. 竹林 理子 9'10"66 H. 30 兵庫県長水路
- 4. 木村 友紀 9'18"69 H. 22 神戸市民
- 5. 小林 広果 9'19"81 H. 22 神戸市民
- 6. 坂上 智美 9'20"47 H. 17 関西学生
- 7. 林 みのり 9'28"48 H. 30 兵庫県長水路
- 8. 藤原 絵美 9'45"19 H. 13 兵庫学生
- 9. 松永 真彩子 9'51"36 H. 31 兵庫県夏季公式
- 10. 野崎 めい 9'56"78 H. 23 京都学生

●100M平泳ぎ

- 1. 西田 早織 1'10"64 H. 21 関西学生
- 2. 平原 雪子 1'11"17 H. 22 千葉国体
- 3. 山下 來花 1'14"90 H. 29 関西学生
- 4. 嶋 ゆかり 1'15"06 H. 16 日本学生
- 5. 榎田 真由子 1'15"31 H. 7 関西学生
- 6. 山本 麻利 1'15"60 H. 25 神戸市民
- 7. 寺本 里織 1'17"07 H. 15 日本学生
- 8. 西田 美樹 1'17"08 H. 7 日本学生
- 9. 市原 なおみ 1'17"13 H. 8 関西学生
- 10. 金田 瑞穂 1'19"41 H.7 関西学生

●200M平泳ぎ

- 1. 西田 早織 2'32"11 H. 21 日本学生
- 2. 平原 雪子 2'36"99 H. 23 関西学生
- 3. 山下 來花 2'39"78 H. 29 関西学生
- 4. 榎田 真由子 2'40"89 H. 4 日本学生
- 5. 西田 美樹 2'41"80 H. 7 関西学生
- 6. 寺本 里織 2'44"46 H. 15 関西学生
- 7. 奥山 琴未 2'44"85 H. 24 日本学生
- 8. 嶋 ゆかり 2'46"36 H. 16 日本学生
- 9. 市原 なおみ 2'48"03 H. 8 日本学生
- 10. 金田 瑞穂 2'50"55 H.7 日本学生

●100M背泳ぎ

- 1. 池田 千容 1'02"87 H. 13 日本選手権
- 2. 池田 益千 1'03"27 H. 18 日本学生
- 3. 高岡 幸恵 1'05"19 H. 19 日本学生
- 4. 田部井 美里 1'05"25 H. 24 兵庫県選手権
- 5. 大和 友梨絵 1'06"88 H. 25 関西学生
- 6. 寺脇 佳子 1'07"26 H. 18 関西学生
- 7. 濵田 莉子 1'07"59 R. 5 関西学生 CS
- 8. 山城 夢芽 1'07"60 R.5 関西学生
- 9. 神野 有香 1'08"92 H. 27 関西学生CS
- 10. 内藤 好 1'10"66 H. 29 関西学生

●200M背泳ぎ

1.	池田	益千	2 '15"11	Η.	18	日本学生
----	----	----	----------	----	----	------

- 2. 池田 千容 2'18"00 H. 13 日本学生
- 3. 高岡 幸恵 2'18"02 H. 19 日本選手権
- 4. 田部井 美里 2'20"47 H. 23 京都学生
- 5. 山城 夢芽 2'24"79 R. 4 和歌山県選手権
- 6. 濵田 莉子 2'25"18 R. 3 関西学生
- 7. 大和 友梨絵 2'25"74 H. 25 関西学生
- 8. 寺脇 佳子 2'25"88 H. 18 関西学生
- 9. 神野 有香 2'29"61 H. 27 大阪府選手権
- 10. 生田 彩 2'31"20 H. 31 関西学生 CS

●100Mバタフライ

- 1. 小林 真衣 1'00"59 H. 19 日本選手権
- 2. 小林 広果 1'02"34 H. 25 関西学生
- 3. 渡瀬 夢花里 1'02"45 R. 5 関西学生 CS
- 4. 太田 愛 1'02"61 H. 14 関西学生
- 5. 山本 紗希 1'02"96 H. 27 関西学生
- 6. 神野 舞 1'03"13 H. 22 関西学生

- 9. 伊藤 かれん 1'04"29 H. 21 兵庫学生
- 10. 中田 亜希美 1'04"30 H. 15 関西学生

●200M バタフライ

- 1. 渡瀬 夢花里 2'15"92 R. 4 関西学生
- 2. 太田 愛 2'15"99 H. 15 関西学生
- 3. 神野 舞 2'17"62 H. 22 日本学生
- 4. 小林 広果 2'18"00 H. 23 関西学生
- 5. 伊藤 かれん 2'18"83 H. 21 関西学生
- 6. 山本 紗希 2'19"25 H. 27 日本学生
- 7. 永岡 里彩 2'20"49 H. 25 日本学生
- 8. 中田 亜希美 2'21"10 H. 15 関西学生
- 9. 柴崎 愛子 2'24"23 H. 18 神戸市民
- 10. 藤本 敦子 2'26"12 H. 11 関西学生

●200M 個人メドレー

1.	平原	雪子	2 '22"55	Н.	23	日本学生
•	ماداد ماداد	₩ →	0.10000.4		4 -	

- 2. 柴崎 愛子 2'23"34 H. 17 大阪府選
- 3. 濵田 莉子 2'23"45 R. 5 関西学生
- 4. 山本 麻利 2'23"80 H. 23 関西学生
- 5. 永岡 里彩 2'24"83 H. 23 関西学生
- 6. 石垣 友美 2'27"39 H. 17 大阪府春季
- 7. 林 みのり 2'27"40 H. 31 関西学生
- 8. 池田 千容 2'28"61 H. 13 三大戦
- 9. 長井 もも香 2'28"68 H. 29 大阪府選
- 10. 内藤 好 2'29"55 H. 29 関西プレインカレ

●400M 個人メドレー

1. 柴崎	愛子	5 '01"93	H. 19	コナミオープン
-------	----	----------	-------	---------

- 2. 濵田 莉子 5'08"00 R. 5 関西学生
- 3. 長井 もも香 5'12"23 H. 28 日本学生
- 4. 林 みのり 5'14"15 H. 31 関西学生 CS
- 5. 藤本 敦子 5'24"72 H. 8 関西学生
- 6. 田中 清香 5'25"58 H. 12 兵庫学生
- 7. 藤田 彩子 6'36"67 H. 4 関西学生
- 8. 藤森 裕子 7'01"29 H. 4 関西学生

●400M メドレーリレー

1.	田部井美里・平原雪子・小林広果・遠藤奈々	4 '16"53	H. 23	日本学生
2.	田部井美里・平原雪子・神野舞・遠藤奈々	4 '20"45	H. 22	日本学生
3.	高岡幸恵・西田早織・小林真衣・坂上智美	4 '20"61	H. 19	関西学生
4.	田部井美里・西田早織・伊藤かれん・木村友紀	4 '21"06	H. 21	関西学生
5.	池田千容・嶋ゆかり・小林真衣・柴崎愛子	4 '21"70	H. 16	関西学生
6.	池田益千・西田早織・小林真衣・柴崎愛子	4 '21"72	H. 18	関西学生
7.	田部井美里・山本麻利・小林広果・永岡里彩	4 '22"11	H. 24	関西学生
8.	池田千容・寺本里織・太田愛・石垣友美	4 '22"53	H. 14	関西学生

9. 大和友梨絵・山本麻利・小林広果・永岡里彩 4'23"43 H. 25 関西学生

10. 池田益千・嶋ゆかり・太田愛・小林真衣 4'24"04 H. 17 関西学生

●200M フリーリレー

1.	遠藤奈々・平原雪子・木村友紀・山本麻利	1 '46"46	H. 23	関西学生
2.	遠藤奈々・平原雪子・木村友紀・田部井美里	1 '49"73	H. 21	関西学生
3.	天野百望・濵田莉子・山城夢芽・渡瀬夢花里	1 '49"98	R. 5	関西学生
4.	小林真衣・福島由美子・池田千容・石垣友美	1 '50"32	H. 16	関西学生
5.	小林真衣・福島由美子・柴崎愛子・坂上智美	1 '50"54	Н. 18	関西学生
6.	中田亜希美・池田千容・太田愛・石垣友美	1 '50"64	H. 14	関西学生
7.	小林真衣・坂上智美・寺脇佳子・西田早織	1 '50"69	H. 19	関西学生
8.	太田愛・福島由美子・柴崎愛子・石垣友美	1 '51"07	H. 15	関西学生
9.	小林真衣・福島由美子・柴崎愛子・石垣友美	1 '51"11	H. 17	関西学生
1 (). 小林真衣・福島由美子・坂上智美・石垣友美	1 '51"20	H. 17	日本学生

●400M フリーリレー

1.	遠藤奈々・平原雪子・木村友紀・山本麻利	3 '55"70	H. 23	関西学生
2.	遠藤奈々・平原雪子・木村友紀・小林広果	3 '57"33	H. 22	日本学生
3.	山本麻利・小林広果・永岡里彩・田部井美里	3 '57"56	H. 24	関西学生
4.	小林真衣・柴崎愛子・坂上智美・石垣友美	3 '59"18	H. 17	関西学生
5.	山本麻利・小林広果・時枝美保・木村友紀	3 '59"24	H. 23	日本学生
6.	天野百望・濵田莉子・山城夢芽・渡瀬夢花里	3 '59"57	R. 4	関西学生
7.	山本麻利・小林広果・永岡里彩・神野有香	3 '59"60	H. 25	関西学生
8.	小林真衣・柴崎愛子・坂上智美・福島由美子	4 '00"04	H. 18	関西学生
9.	天野百望・濵田莉子・佐野仁美・渡瀬夢花里	4 '00"55	R. 4	日本学生
10.	遠藤奈々・伊藤かれん・平原雪子・木村友紀	4 '01"03	H. 21	関西学生

●800M フリーリレー

1.	山本麻利・小林広果・平原雪子・木村友紀	8 '31"99	H. 23	日本学生
2.	木村友紀・小林広果・山本麻利・田部井美里	8 '34"73	H. 22	関西学生
3.	山本麻利・小林広果・永岡里彩・田部井美里	8 '35"17	H. 24	関西学生
4.	木村友紀・小林広果・田部井美里・山本麻利	8 '36"51	H. 22	日本学生
5.	竹林理子・山本紗希・林みのり・丑本加子	8 '37"82	H. 30	関西学生
6.	神野有香・永岡里彩・山本麻利・小林広果	8 '38"36	H. 25	日本学生
7.	河津なつみ・木村友紀・田部井美里・遠藤奈々	8 '43"17	H. 21	日本学生
8.	山本麻利・田部井美里・神野有香・永岡里彩	8 '43"63	H. 24	兵庫学生
9.	濵田莉子・天野百望・佐野仁美・渡瀬夢花里	8 '48"13	R. 4	関西学生
10.	永岡里彩・笘井柚伽・田部井美里・平原雪子	8 '48"32	H. 23	兵庫学生

編集後記

『弦泳第 37 号』はいかがでしたでしょうか。読んでいただく皆様にとって見易く、読み易く、そして楽しんでいただける部誌になるよう心掛けて作成いたしました。

今年度は、コロナによる活動制限がなくなり、徐々に元の生活を送ることができるようになってきました。試合では声出しによる応援も可能となり、チームの一体感がより増したように感じました。一方で、現在の現役は入学時からコロナ禍での活動だったため、新たな取り組みに戸惑うことも多かったです。しかし、監督や主将、主務をはじめとした多くの人たちの努力と試行錯誤によって、水上競技部がより良い部となるよう導いてくださいました。そのような中で、私自身、何か部に貢献できる取り組みを行いたいという思いから、この『弦泳』の編集に立候補させていただきました。取り組みの中で、今まで見えていなかった、OB・OGの皆様とのつながりというものを強く実感し、この編集をさせていただけて本当に良かったと思うことができました。

最後になりましたが、ご多忙中にも関わらず本誌発行のため執筆にご協力下さいました諸先生方、諸先輩方にこの場をお借りして深く御礼申し上げます。また、今後とも我が水上競技部への一層の御高配を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。皆様の益々のご健康、ご活躍、そしてご発展をお祈り申し上げます。

「弦泳第 37 号」編集者 三年生 濵田 莉子